

和田堀公園調節池工事 工事説明会

日時 : 平成30年9月13日 午後7時00分～午後8時30分

会場 : 杉並区立松ノ木中学校 3階 特別活動室

東京都第三建設事務所
松尾建設株式会社

次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 職員及び受注者紹介
4. 説明
 - 善福寺川整備事業の概要
 - 和田堀公園調節池事業の概要
 - 和田堀公園調節池工事について
 - 工事に伴う家屋調査について
5. 質疑応答
6. 閉会

善福寺川整備事業の概要

善福寺川の概要



○流域面積 18.3km² (中野区、杉並区、練馬区、武蔵野市)

○河川延長 10.5km 下流端：神田川合流
上流端：杉並区善福寺町二丁目

過去の代表的な水害

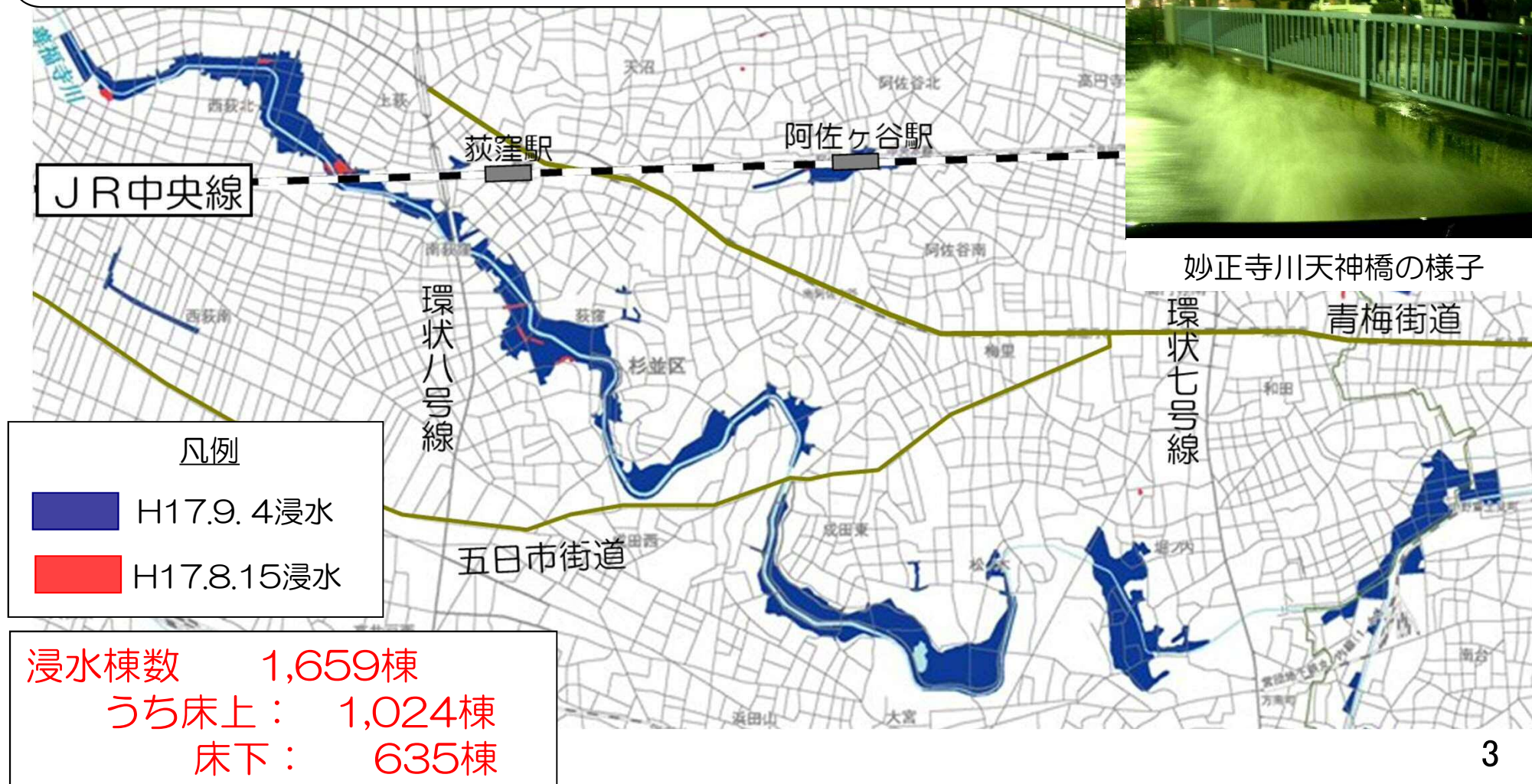
■平成17年9月の豪雨

妙正寺川、善福寺川上流部を中心に、9月4日夕方から5日未明にかけて時間最大100mm以上の激しい雨が降り、杉並区、中野区、新宿区で**浸水家屋3,000戸以上の甚大な被害**が発生。

- ・ 総雨量 : 263mm (下井草観測所・杉並区)
- ・ 時間最大雨量 : 112mm/h (下井草観測所・杉並区)



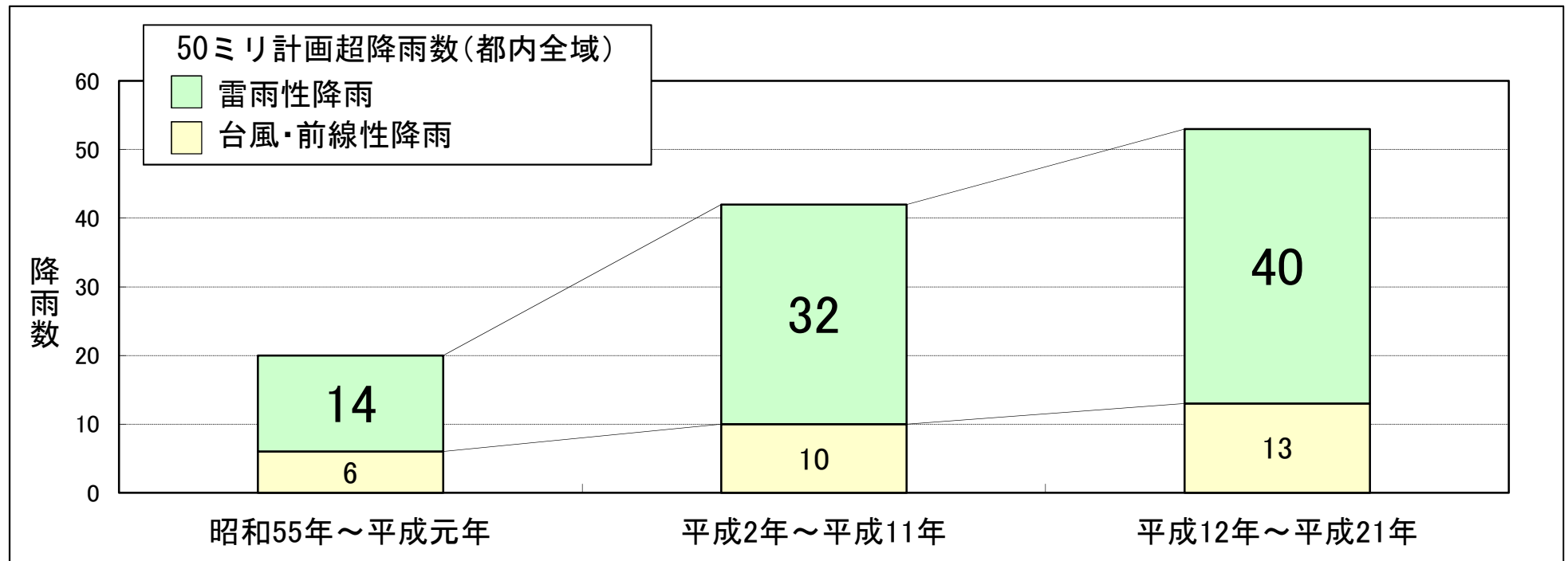
妙正寺川天神橋の様子



近年の降雨状況の変化

■降雨の発生要因の変化

時間50ミリを超える雷雨性降雨が増加傾向



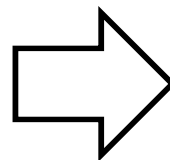
出展:「東京都内の中小河川における今後の整備のあり方について最終報告書」(平成24年11月)より

新たな整備方針における整備の考え方

「中小河川における都の整備方針～今後の治水対策～」（平成24年11月）
「東京都豪雨対策基本方針（改定）」（平成26年6月）

■目標整備水準の引き上げ

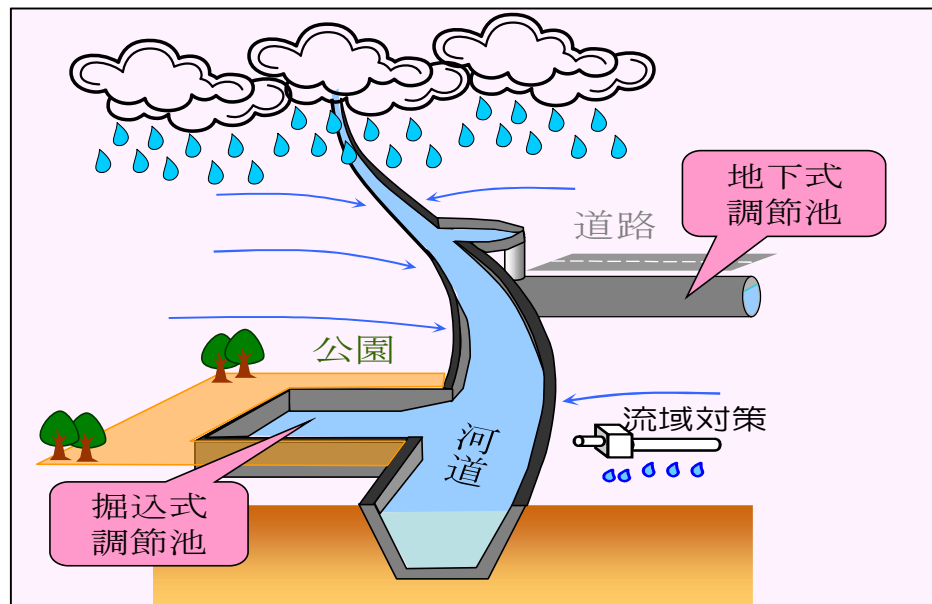
これまでは
時間最大50ミリの降雨に対応



区部河川は、
時間最大75ミリの降雨に対応

■整備の考え方

時間50ミリ降雨までは河道で対応。これを超える降雨は新たな調節池及び流域対策※により対応



※流域対策
流域内に降った雨水を貯留、
浸透させて、河川への流出を
抑制する対策。
例）雨水貯留施設や透水性舗
装や浸透ますなど

調節池は、道路下や公園等の公共空間を活用し効率的に整備

神田川流域の改修状況

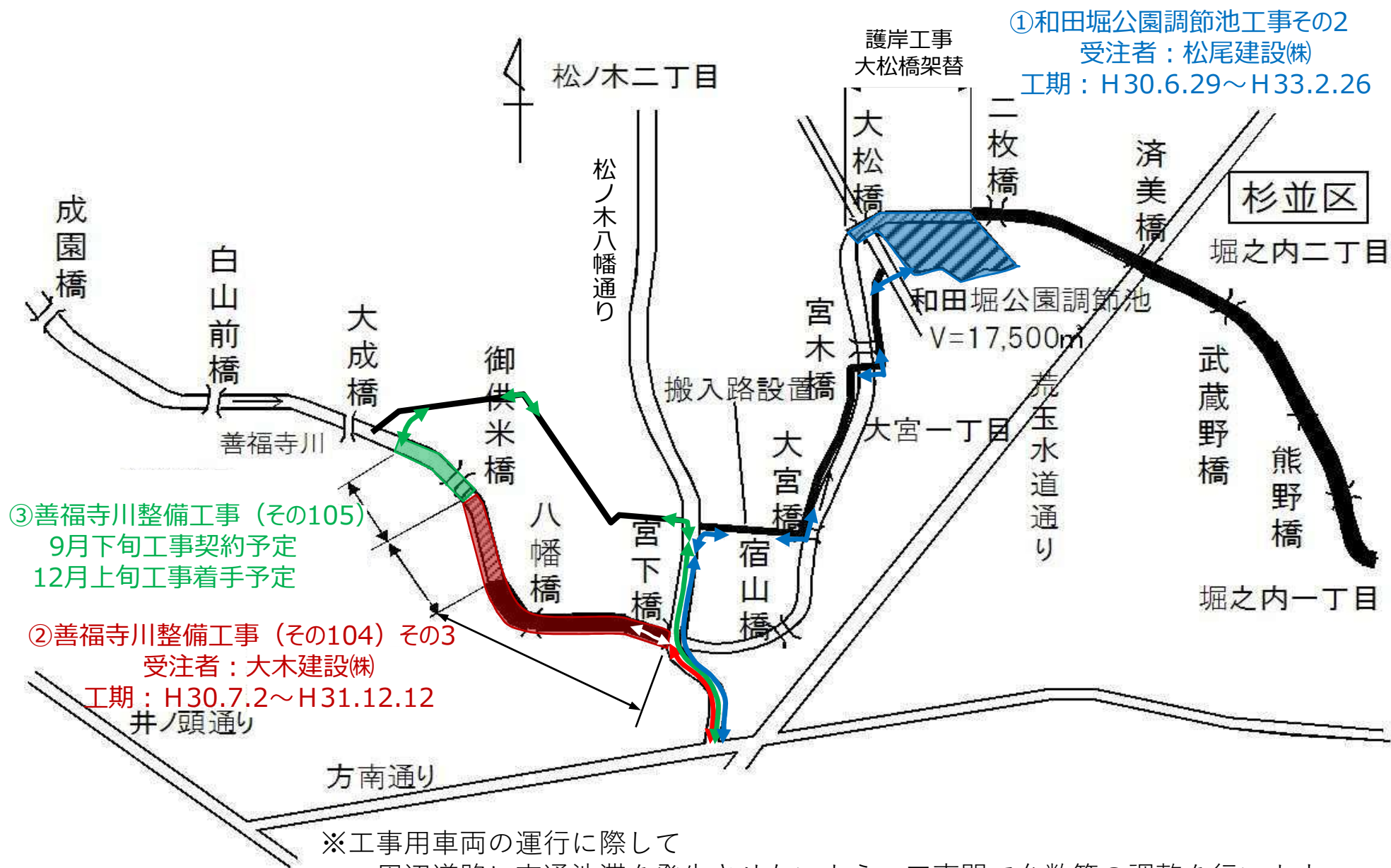
- 神田川及び善福寺川では1時間75mm程度の雨に対応できるよう整備を進めている。
- 整備にあたっては、川幅を広げることを基本に、調節池や分水路を組み合わせる等、効率的な対策を実施している。



善福寺川（和田堀公園周辺）の改修状況



和田堀公園調節池工事及び善福寺川整備工事における工事用搬入路



※工事用車両の運行に際して

- ・周辺道路に交通渋滞を発生させないよう、工事間で台数等の調整を行います。
- ・交通誘導員の適切な配置等により、通学路に配慮した交通安全対策を行います。

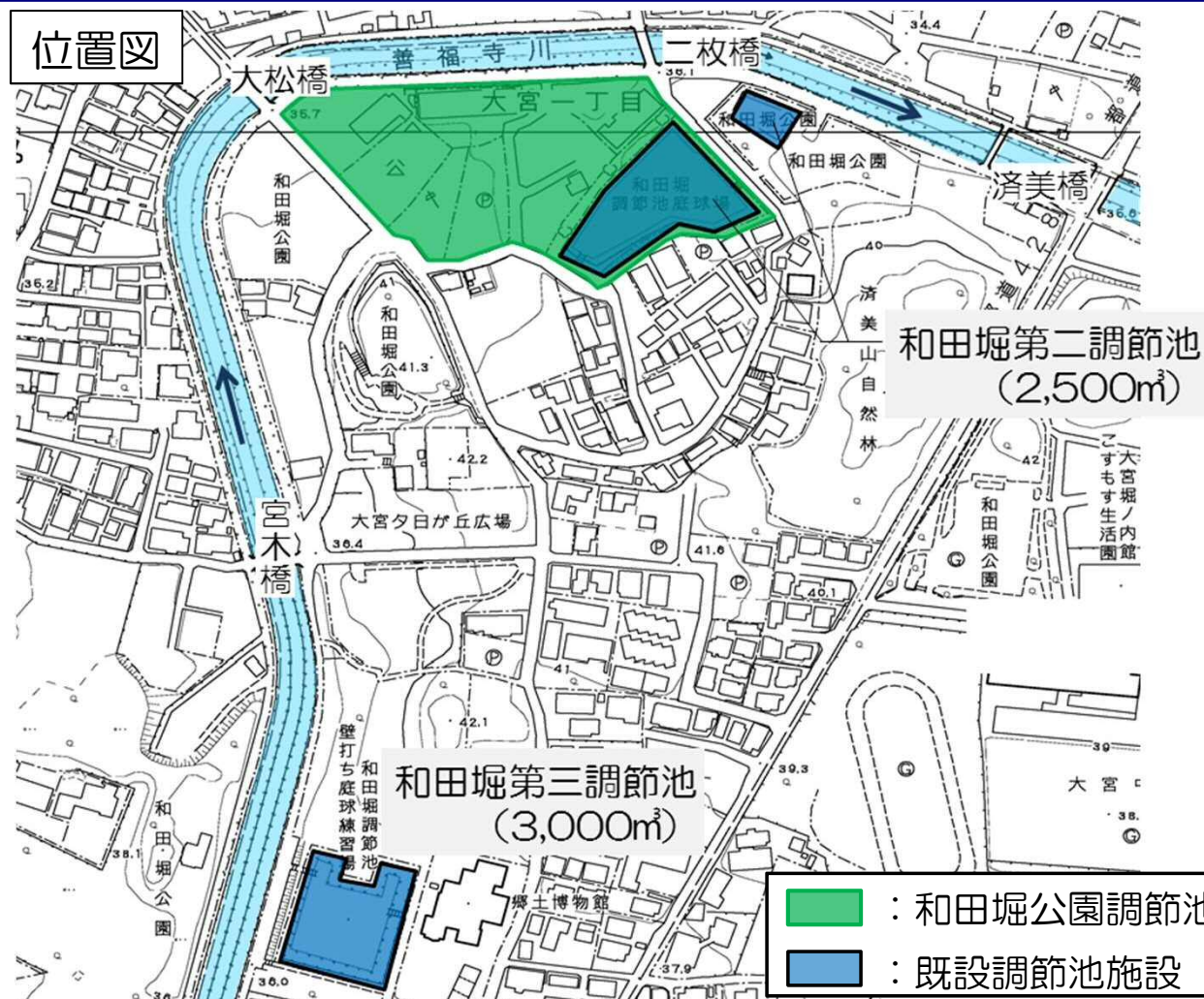
和田堀公園調節池事業の概要

和田堀公園調節池事業について

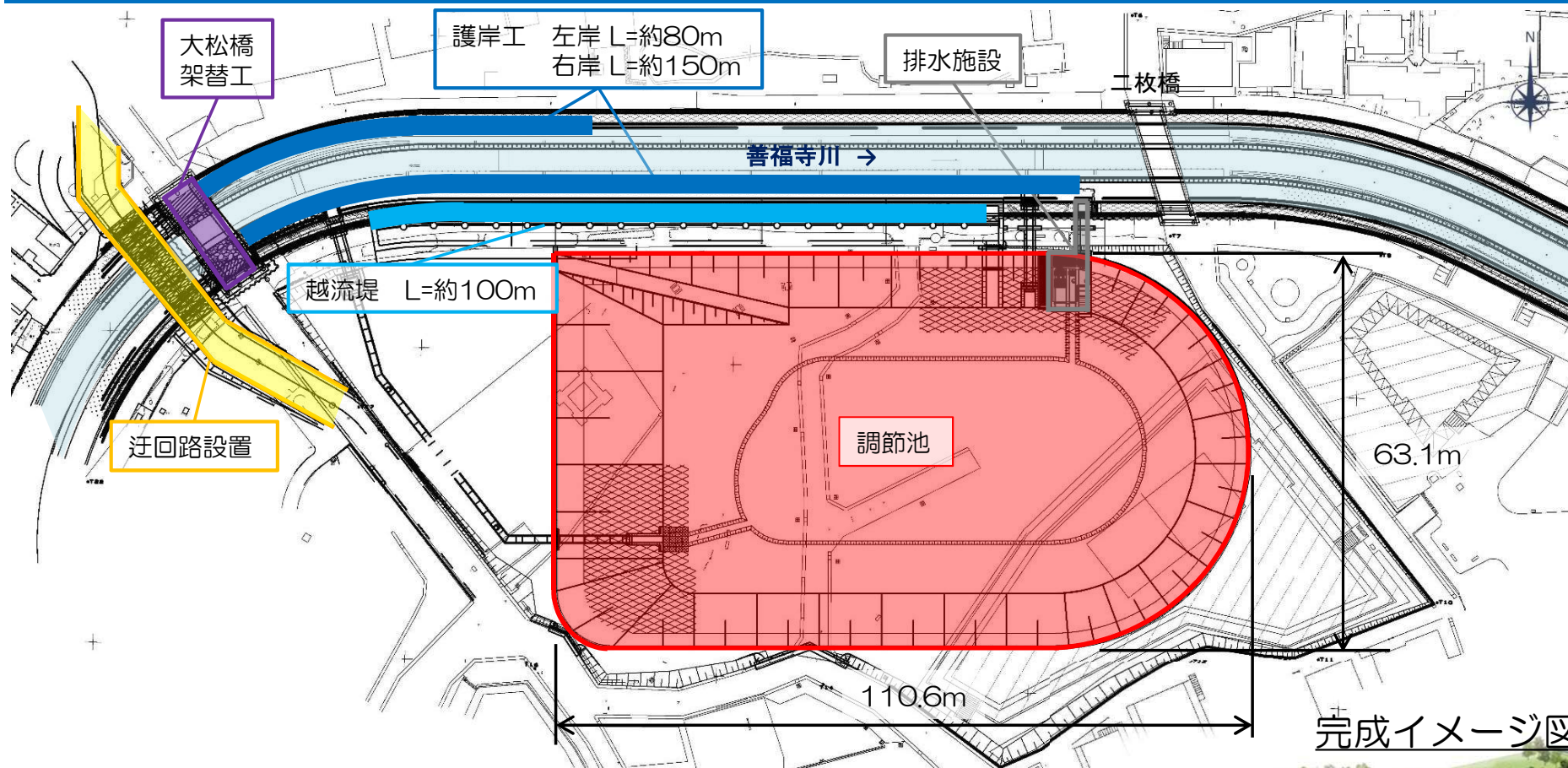
事業目的

- 近年の集中豪雨の増加を踏まえ、河道整備及び調節池等を合わせて、時間75mmの降雨に対応する施設を整備
- 公園計画に合わせて、和田堀第二・第三調節池を統合・拡張

⇒治水安全度の向上



平面図

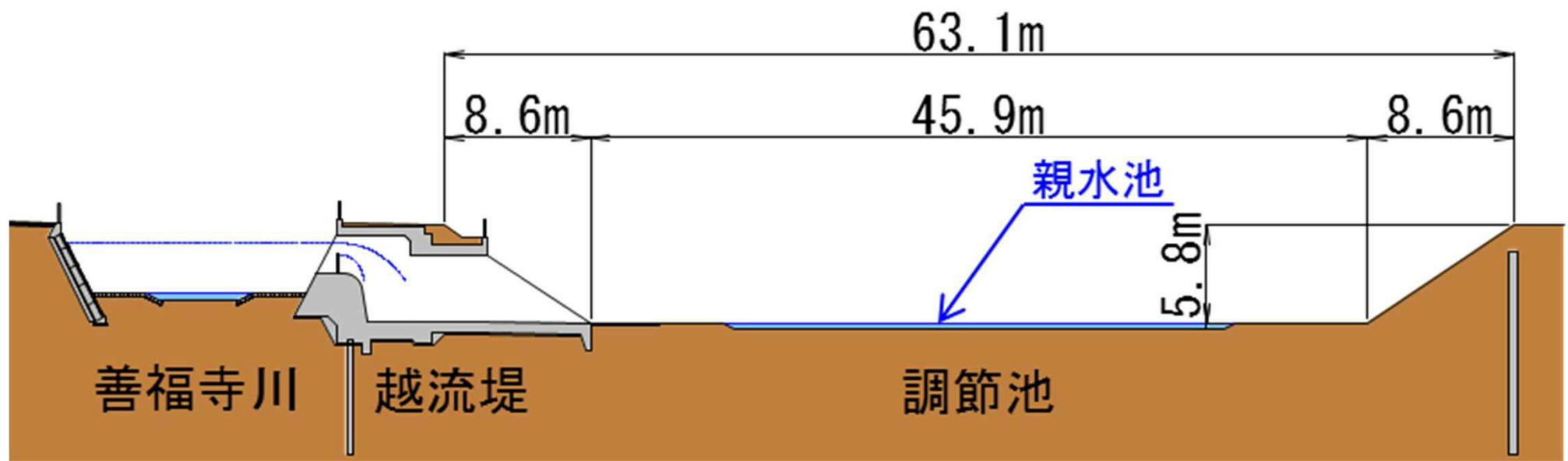


調節池諸元

- 貯留量 17,500m³
(25mプール約60杯分に相当)
- 形状 掘込式調節池
(平常時は公園として利用できます)

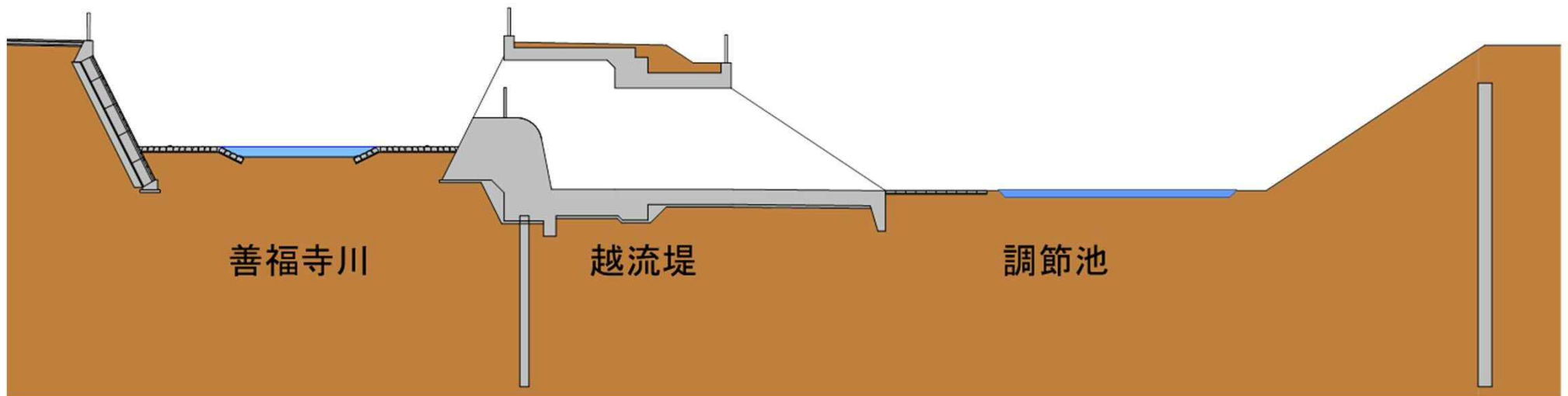


標準断面図



調節池のイメージ①

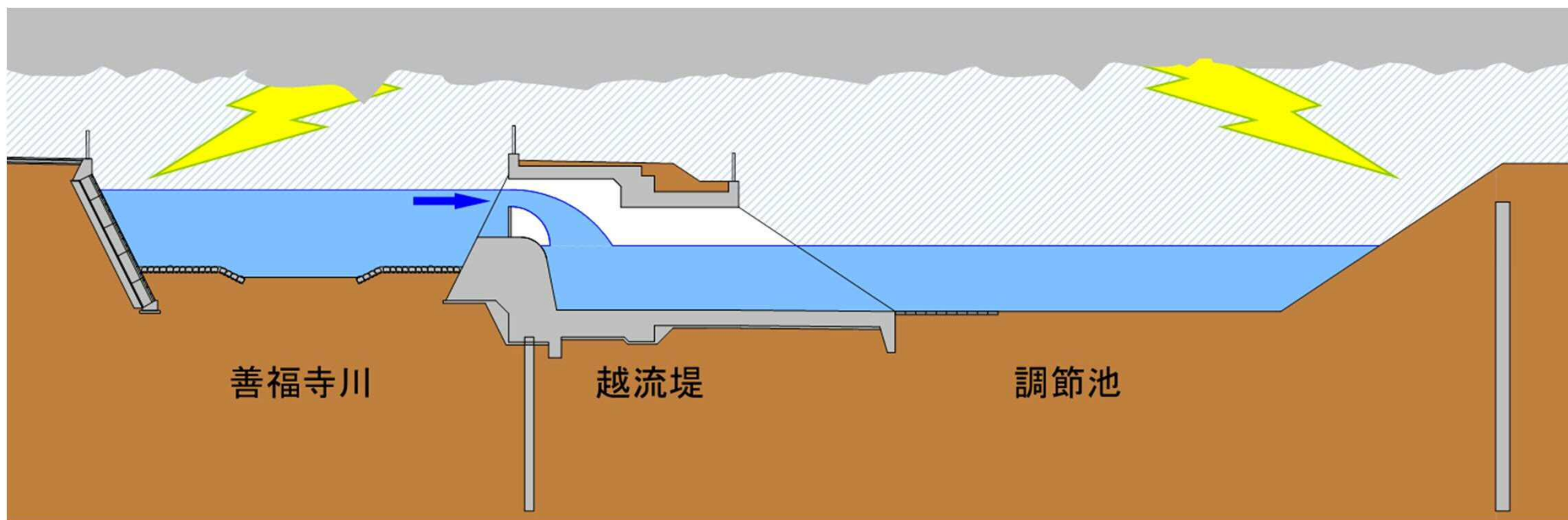
平常時



調節池のイメージ②

降雨時

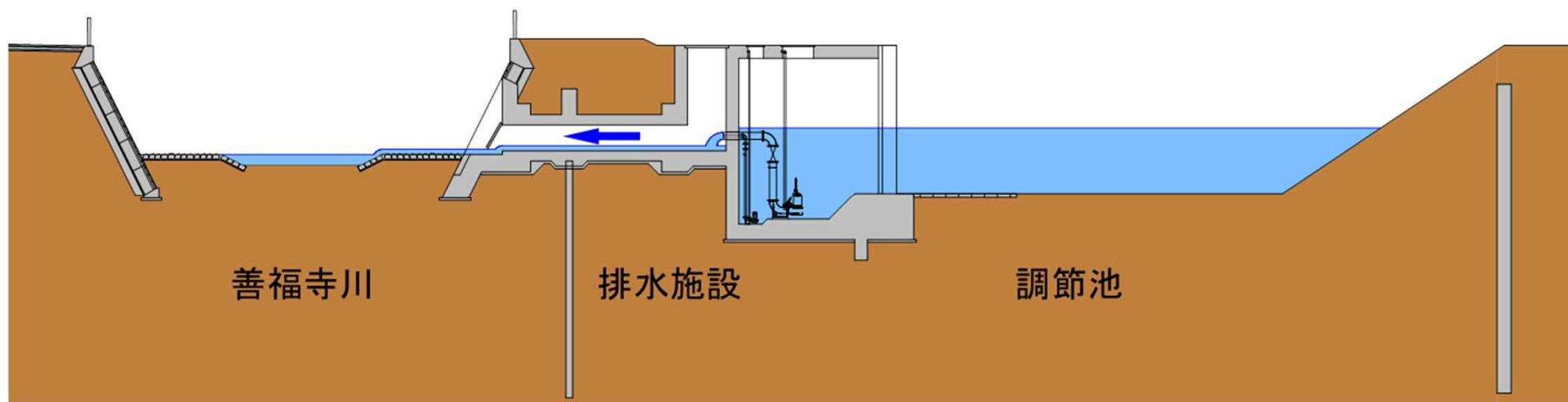
善福寺川の洪水が越流堤を超えて調節池内に流入。
洪水を一時貯留し水害発生を防ぐ。



調節池のイメージ③

降雨終了後

排水ポンプにより調節池内の貯留水を善福寺川に排水。
次の洪水に備える。



調節池流入イメージ

平常時



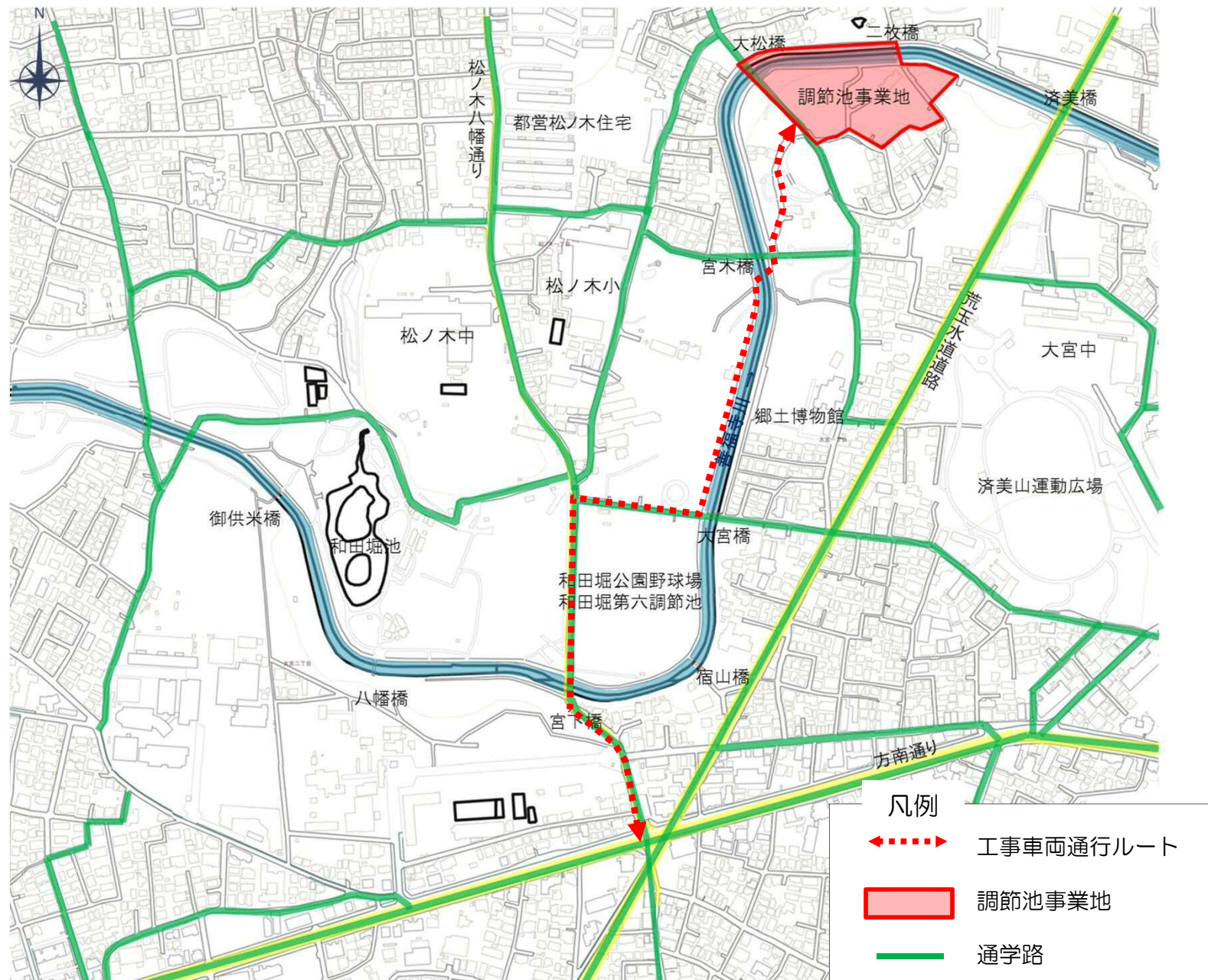
取水時



調節池



工事用車両搬入ルート



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平29情使、第1515号）

事業スケジュール

	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	2021年度 (平成33年度)	2021年度 (平成34年度)
搬入路整備工事						
埋蔵文化財本調査						
調節池工事						
大松橋工事						
公園整備工事						

※ 実線部については、現場で作業を行います。

※ 現時点でのスケジュールであり、今後変更になる場合があります。

和田堀公園調節池工事について



松尾建設株式会社

工事概要

1. 工事期間

自 平成30年 9月下旬
至 平成33年 2月下旬（予定）

2. 施工時間

午前8：00 ～ 午後6：00

（午後5時重機作業終了、片付け後撤退完了を午後6時予定）

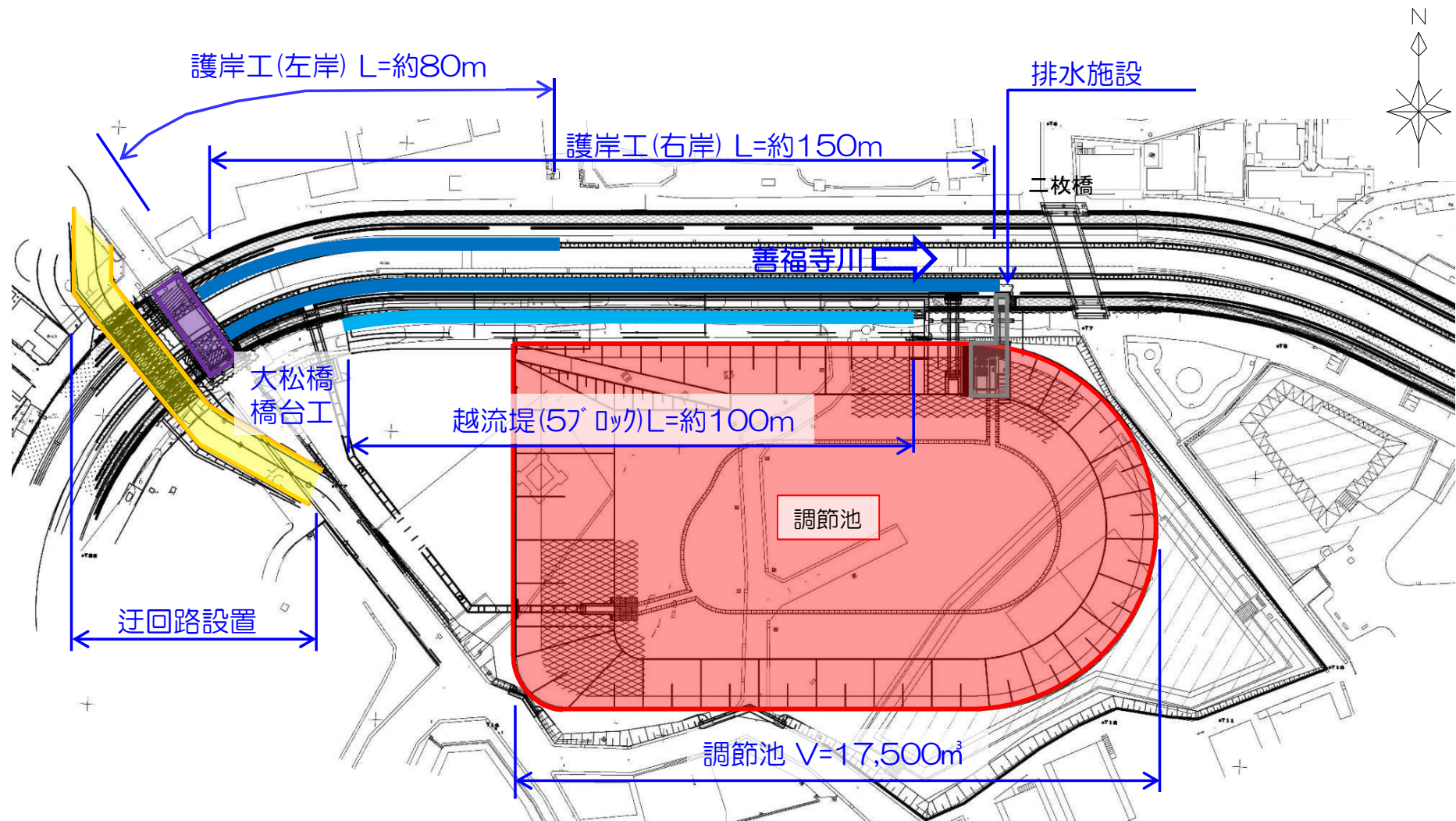
土曜、日曜、祝日は原則休工します。

※ダンプ等大型車両は、原則午前8:30～午後6:00に通行。

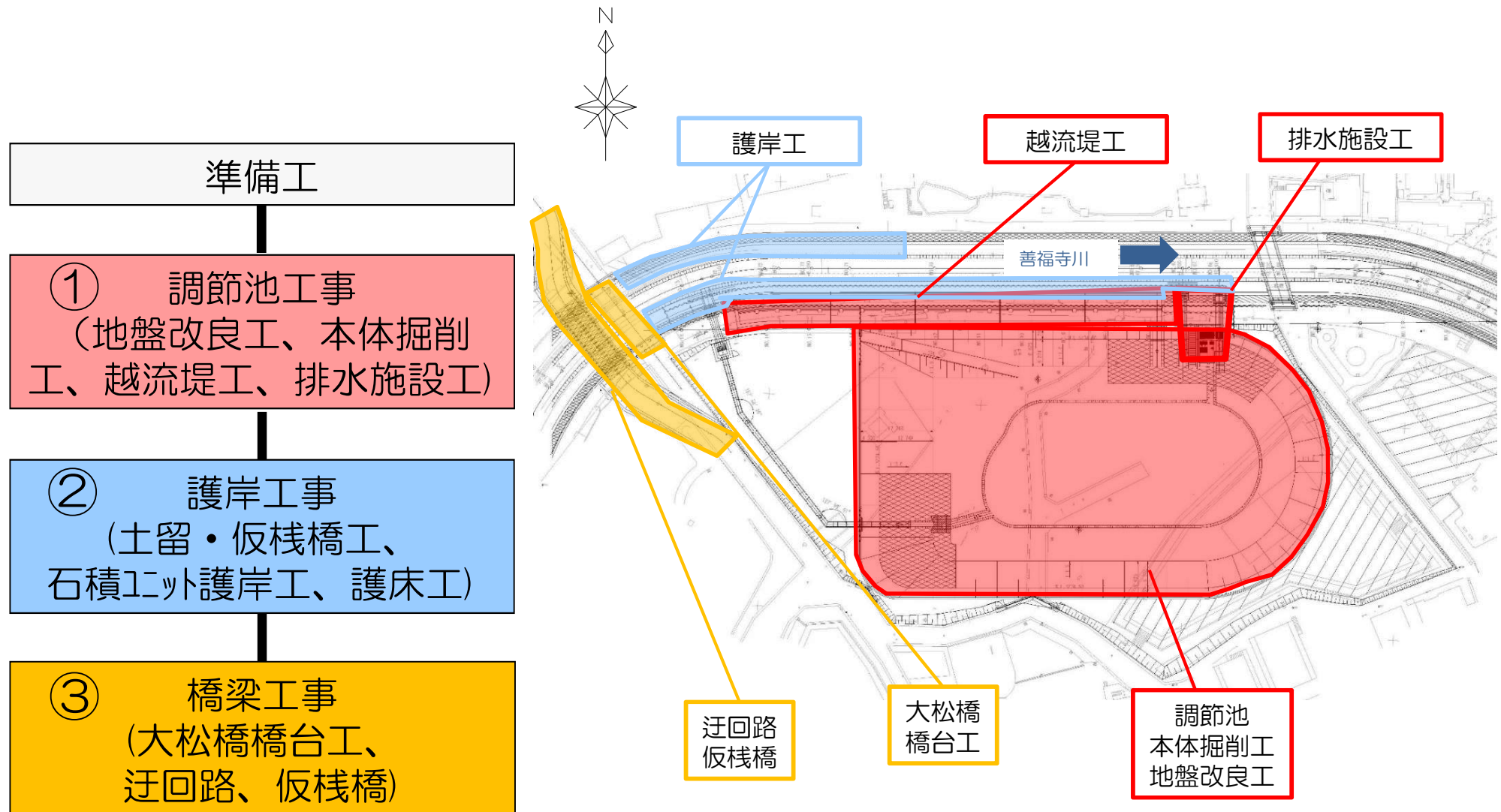
（トレーラー等特に大きな車両を除く。）

※天候・施工条件等により、変更となる場合があります。

工事概要：全体平面図



工事概要_施工フロー



※低振動・低騒音の工法や機械を選定して工事を行います。

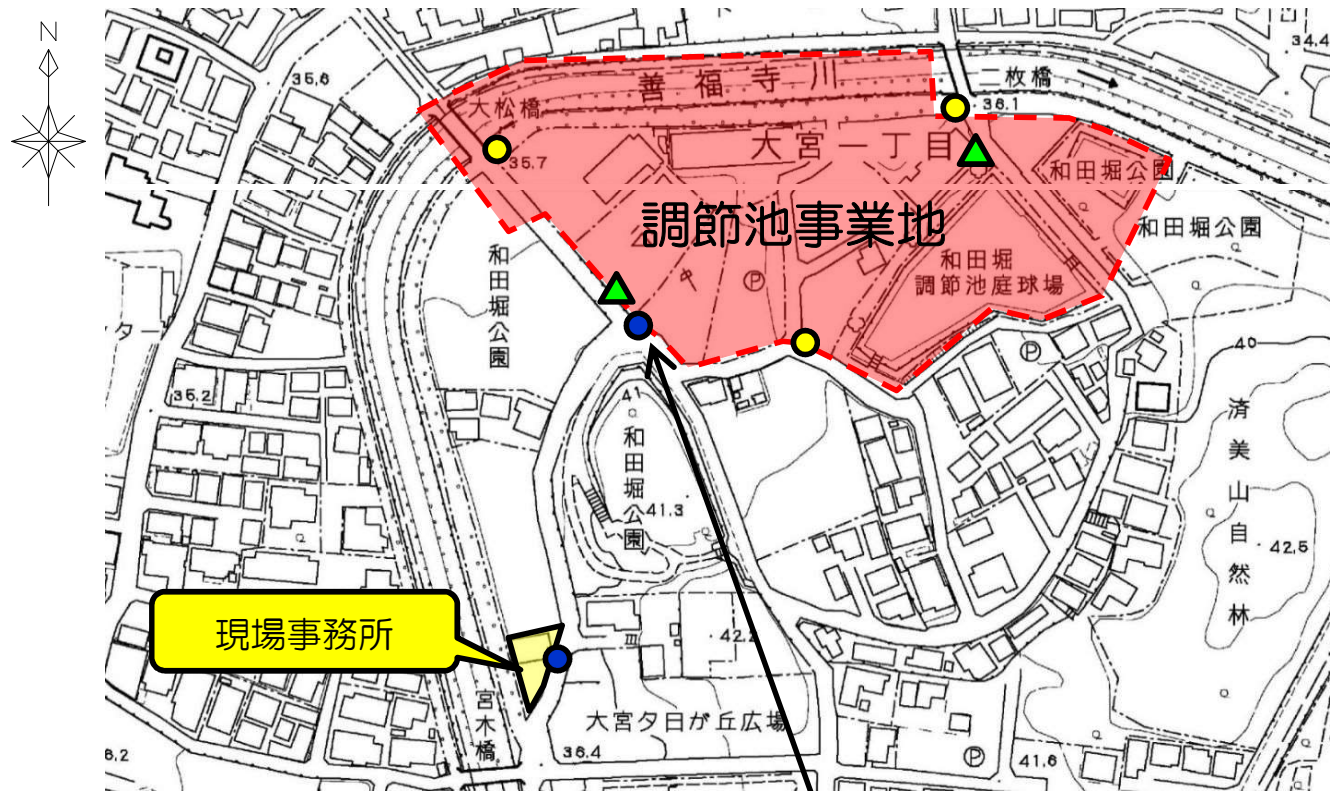
準備工

1. 関係機関等への連絡、許可申請を行います。
2. 近隣住民の方々へ工事説明会を行います。
3. 工事広報板の設置を行います。
4. 現場事務所の設置を行います。
5. 工事で使用する測量点及び工事範囲の地形を測量します。
6. 機械ボーリングによる土層試料採取と土質試験を行います。
7. 環境調査(家屋調査等)を専門機関に依頼し行います。

準備工-現場事務所位置図



準備工-工事広報板等設置位置図



- ① A型 2700×1800……2基《凡例 ● 》
- ② B型 1800×1800……3基《凡例 ● 》
- ③ 週間工程表揭示……2箇所《凡例 ▲ 》



※工事広報板を工事範囲周辺に設置します。

準備工-工事広報板掲示予定内容

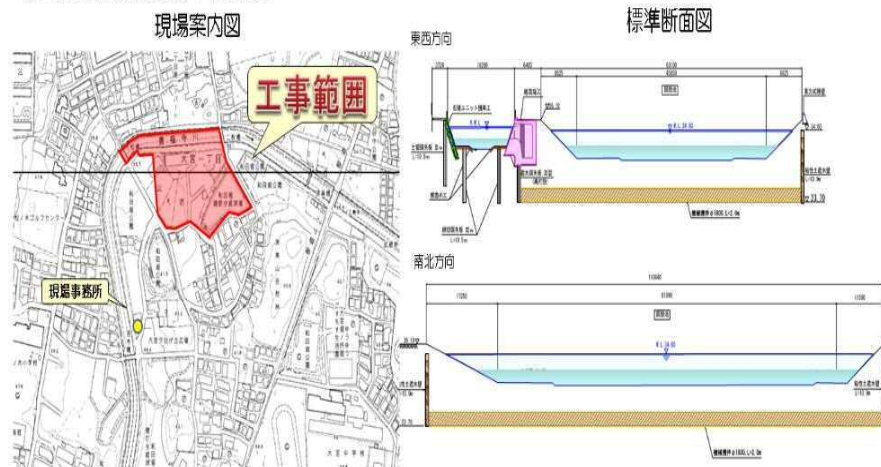
和田堀公園調節池工事のお知らせ

日頃より東京都の河川事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

現在、東京都では、大雨・洪水に対処する河川の護岸や調節池の整備などによる治水対策を進めており、その一環として、善福寺川では、都立和田堀公園内に「和田堀公園調節池」を整備する事となりました。

この工事は、大松橋から二枚橋の区間において下図の着色した部分の工事となります。

工事期間中は、皆様には何かとご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、工事の安全と早期の完了に努めますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



工事件名： 和田堀公園調節池工事その2

工事場所： 東京都杉並区松ノ木一丁目地内から

同区大宮一丁目地内まで

工事期間： 平成30年 9月下旬 から 平成33年 2月下旬

工事概容： 施工延長 L=247.8m

【調節池工事】

土 工

掘 削 工

遡 水 工

粘土遮水壁工 (L=109m)

鋼矢板遮水壁工

地盤改良工

越 流 堤 工

37,810 m3

3,194 m2

168 枚

7,067 m2

100 m

【護岸工事】

護 岸 工

石積ユニット護岸工

護 床 工

根固め工

撤 去 工

仮 設 工

覆工板設置工

土留・締切矢板工

638 m2

857 m2

一式

7,067 m2

1,629 m2

349 枚

この工事に要する費用は次のとおりです。

事 業 費	約 18億2,500万円
調節池工事・・・調節池1m3つくるのに約7万円	
護岸工事・・・護岸1m整備するのに約21万円	
附帯工事・・・橋台1基つくるのに約6000万円かかっています。	

【附帯工事（大松橋）】

橋梁部土工

橋台基礎工

鋼管杭圧入工 (φ600mm L=100m)

橋台工

旧橋撤去工

橋梁部仮設工

一式

14 本

2 基

一式

一式

このマークは二次元コードです。
携帯電話で情報が見られます。



●お気付きの点がございましたら、下記までご連絡下さい。

発注者： 東京都建設局第三建設事務所 工事第二課

TEL 03-3387-6250

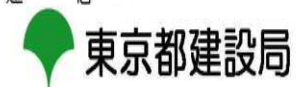
受注者： 松尾建設株式会社

TEL 03-3314-3345

現場代理人 松 尾 真 一

監理技術者 辻 信 一

未来をつくろう・・・みち・水・緑



広報板掲示（案）

①調節池工事：撤去工、樹木移植

撤去工、樹木移植

地盤改良工

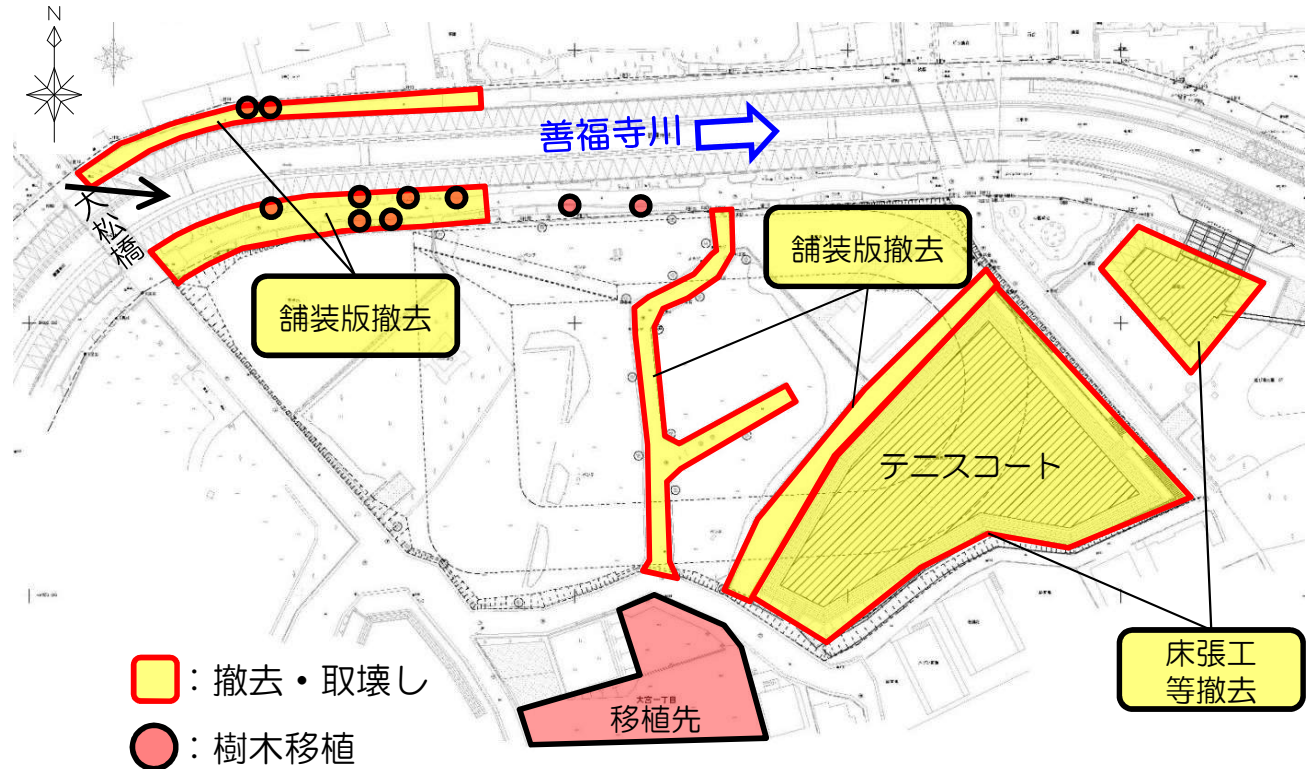
粘性土遮水壁

排水施設工

本体掘削工、残土処分

越流堤工

ブロックマット



工事の進捗に合わせて、支障となる構造物の撤去をすると共に樹木の移植等を行います。



樹木移植前

①調節池工事：地盤改良工

撤去工、樹木移植

地盤改良工

粘性土遮水壁

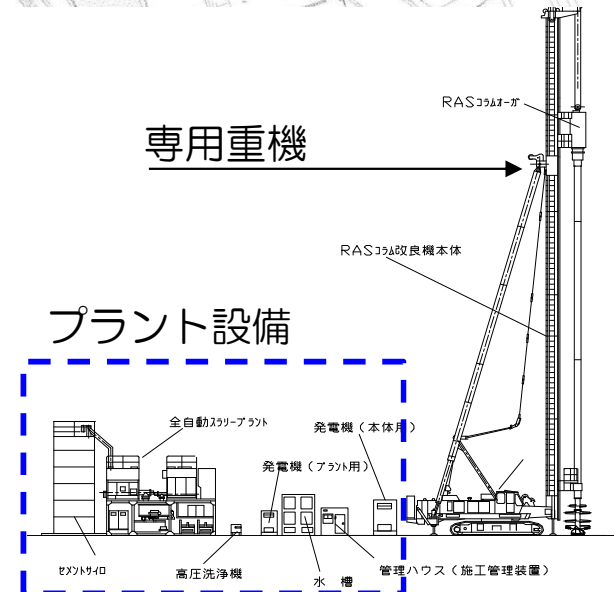
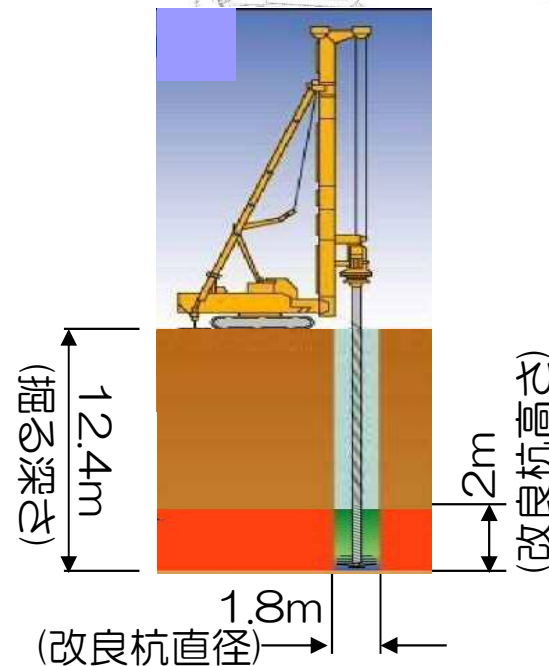
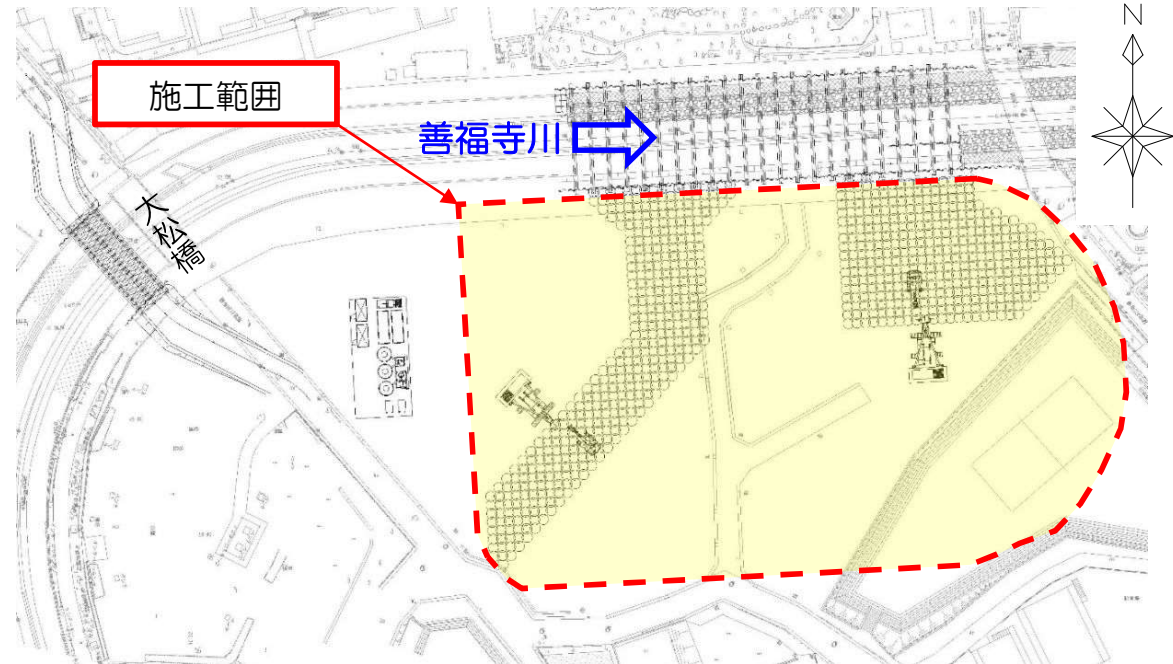
排水施設工

本体掘削工、残土処分

越流堤工

ブロックマット

地下水の侵入を防ぐため大型クレーンに似た専用重機を使って地中を真下に掘り固化材を先端から噴射し、土と混ぜる事で深部の地盤改良を行います。



①調節池工事：粘性土遮水壁

撤去工、樹木移植

地盤改良工

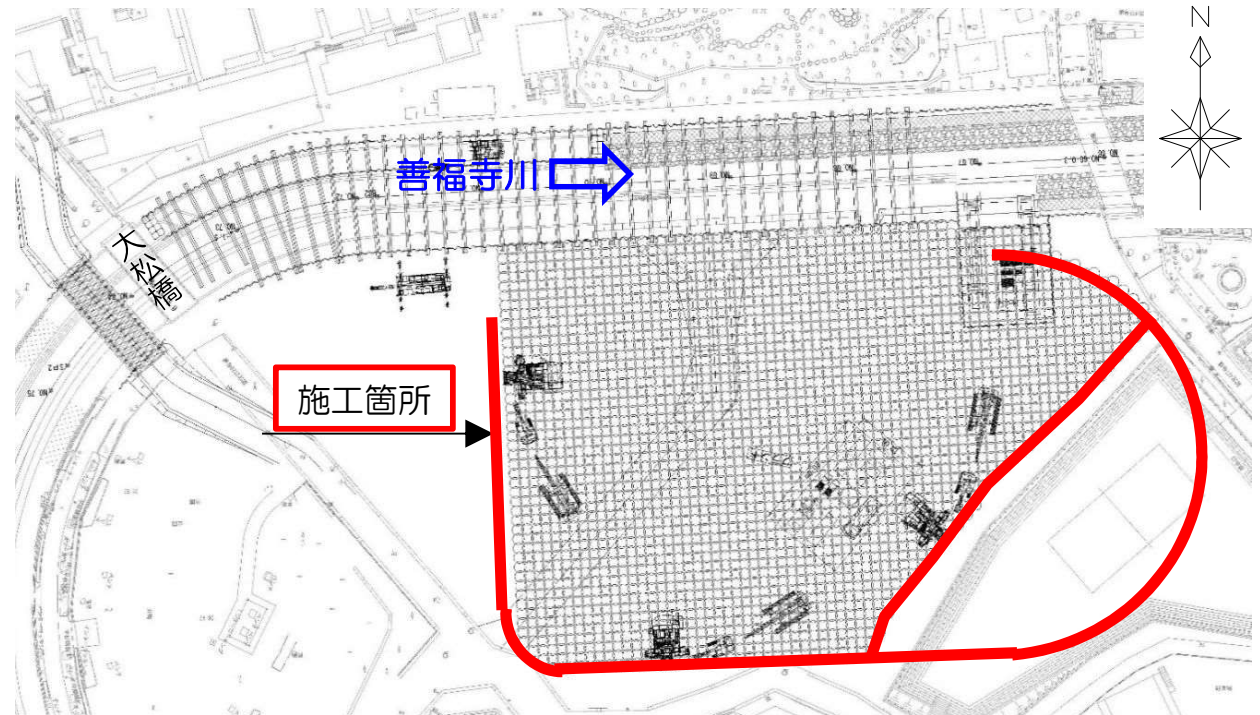
粘性土遮水壁

排水施設工

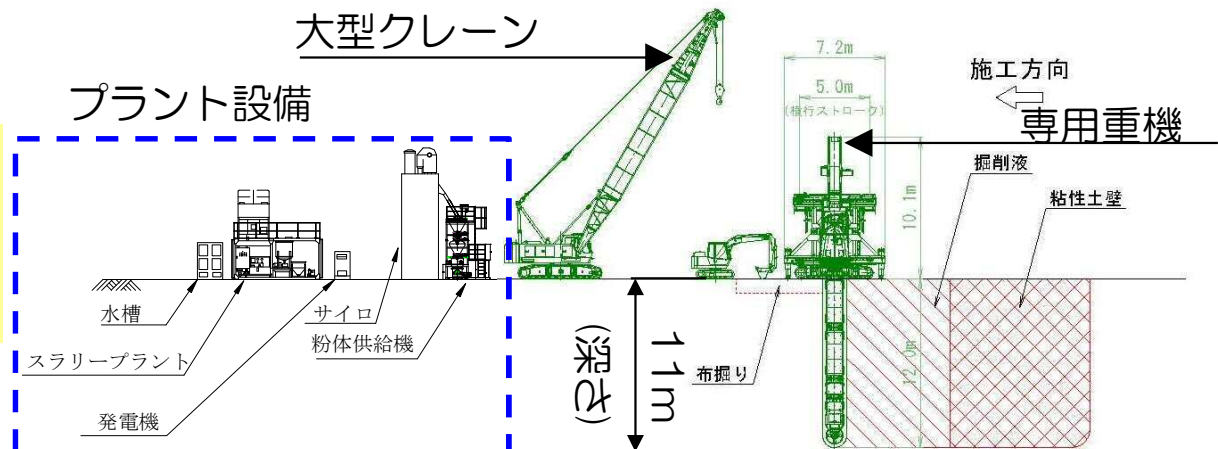
本体掘削工、残土処分

越流堤工

ブロックマット



地下水の侵入を防ぐため、巨大なチェーンソーに似た専用重機を使って、連続した粘性土の壁を造ります。



①調節池工事：排水施設工

撤去工、樹木移植

地盤改良工

粘性土遮水壁

排水施設工

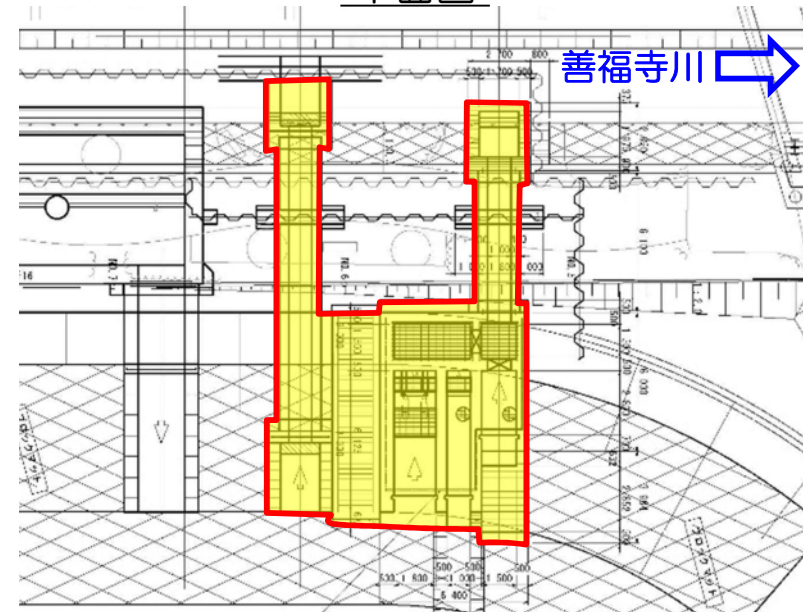
本体掘削工、残土処分

越流堤工

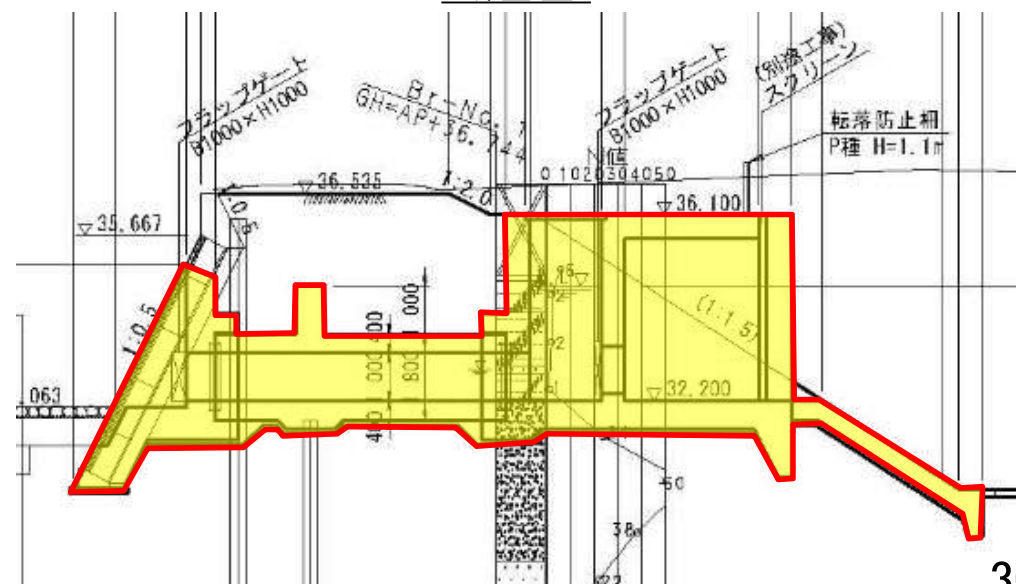
ブロックマット

調節池に貯留した水を川へ排水する施設です。仮設で山留めを行った後、バックホウで掘り下げ、鉄筋コンクリートの施設を造ります。

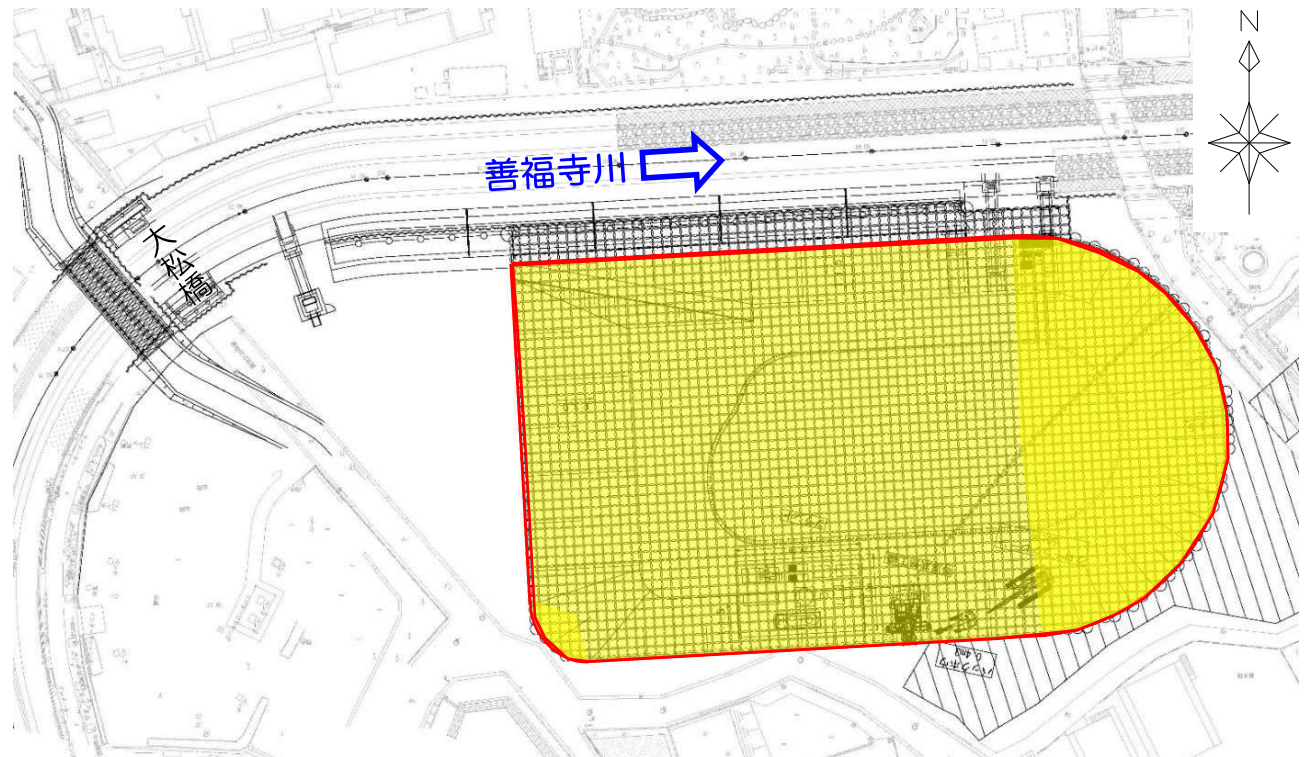
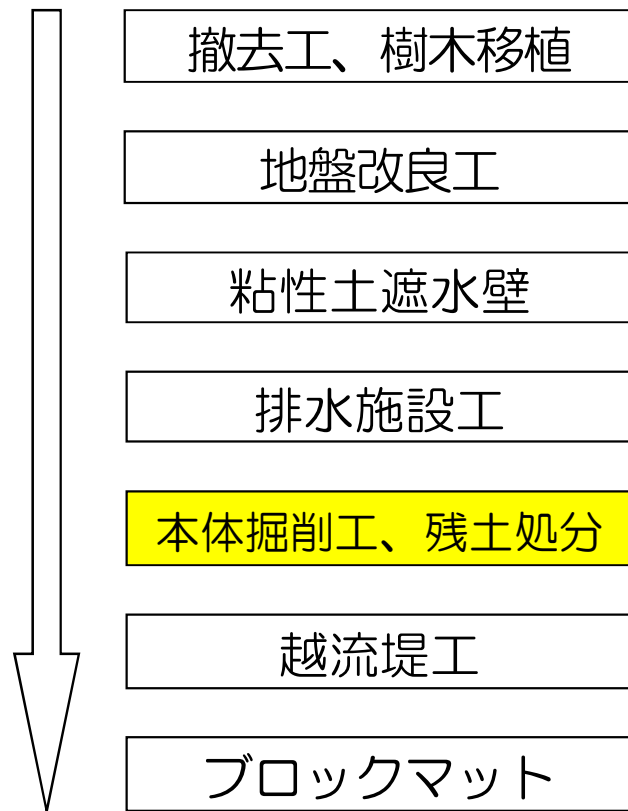
平面図



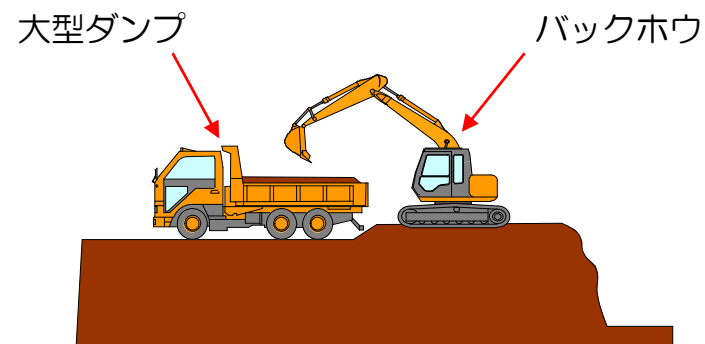
断面図



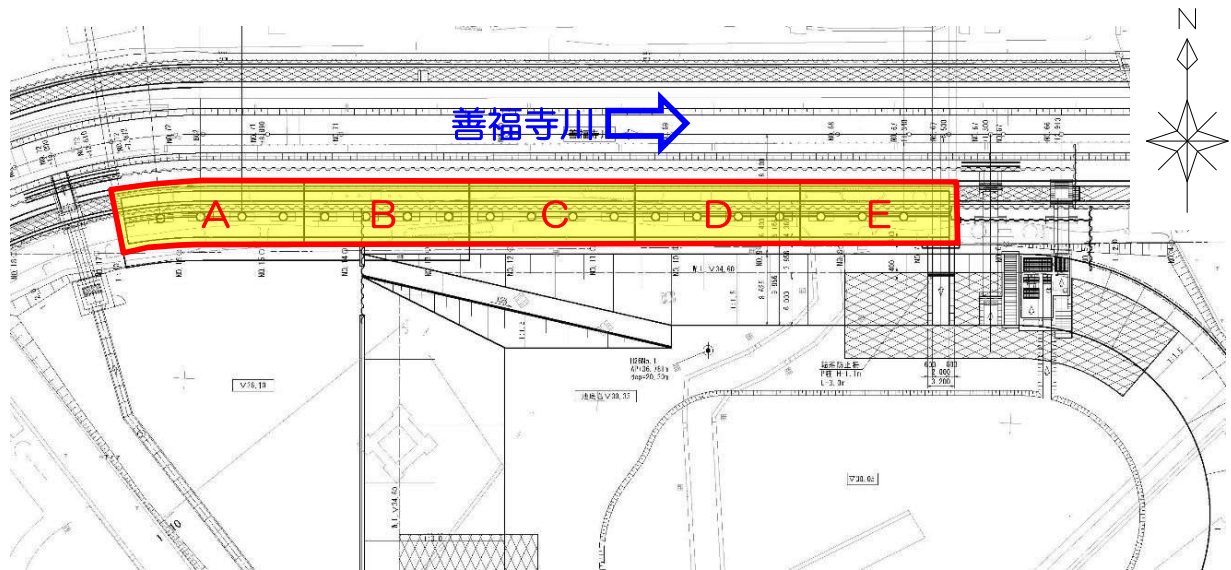
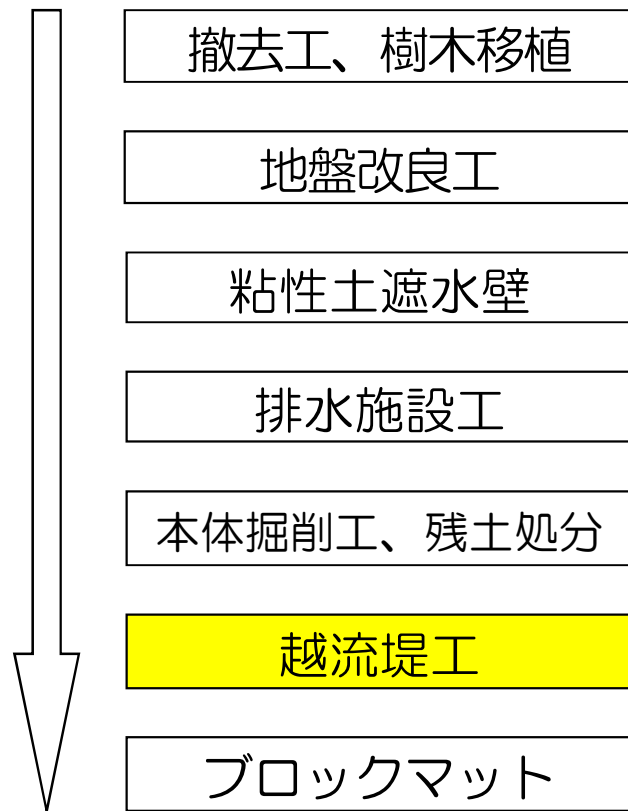
①調節池工事：本体掘削工、残土処分



バックホウを使って、調節池の掘削を行い、残土を大型ダンプで場外へ運搬し処分します。



①調節池工事：越流堤工

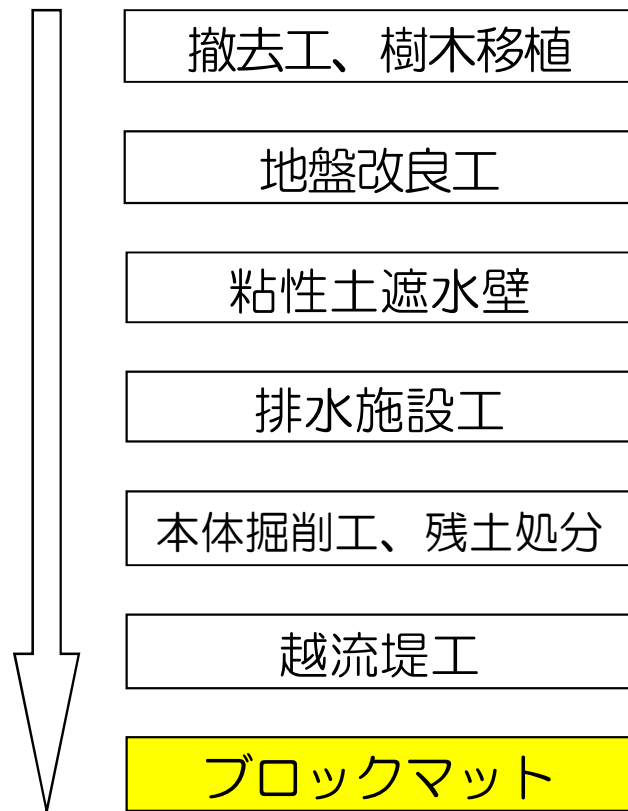


施工延長が100m程で、5ブロック(A+B+C+D+E)に分けて造ります。先にA-C-Eの3ブロックを進めて完了後、残りのB-Dブロックを造ります。排水施設同様、鉄筋コンクリートの施設を造ります。

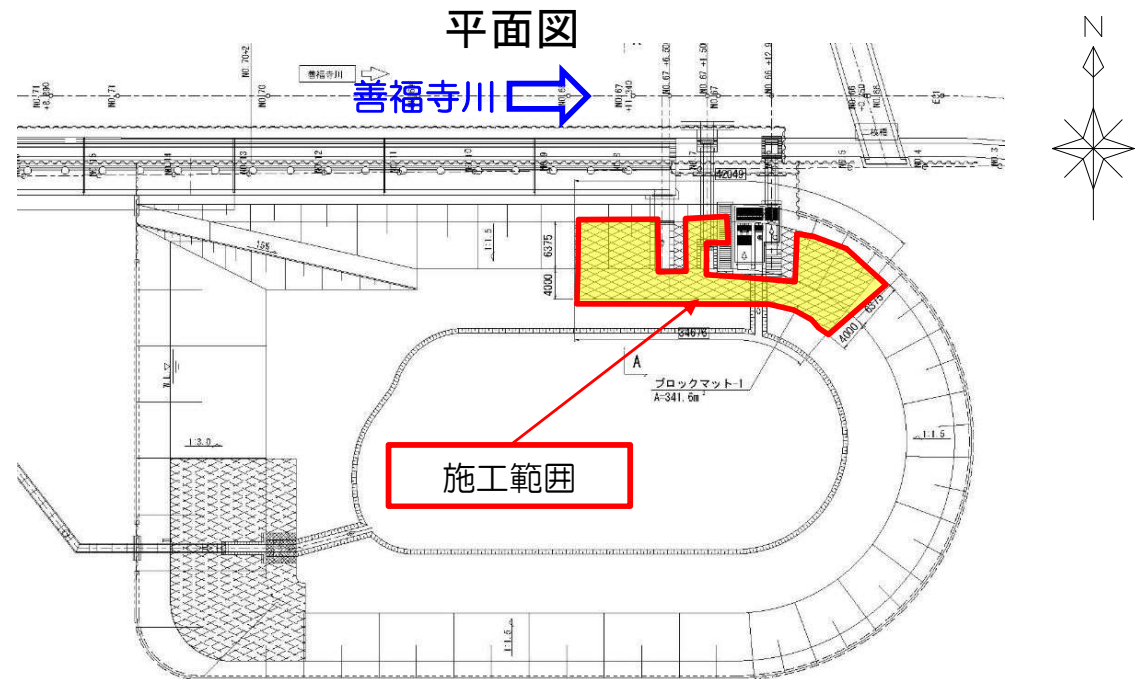


※和田堀第6調節池（和田堀公園野球場）の越流堤

①調節池工事：ブロックマット

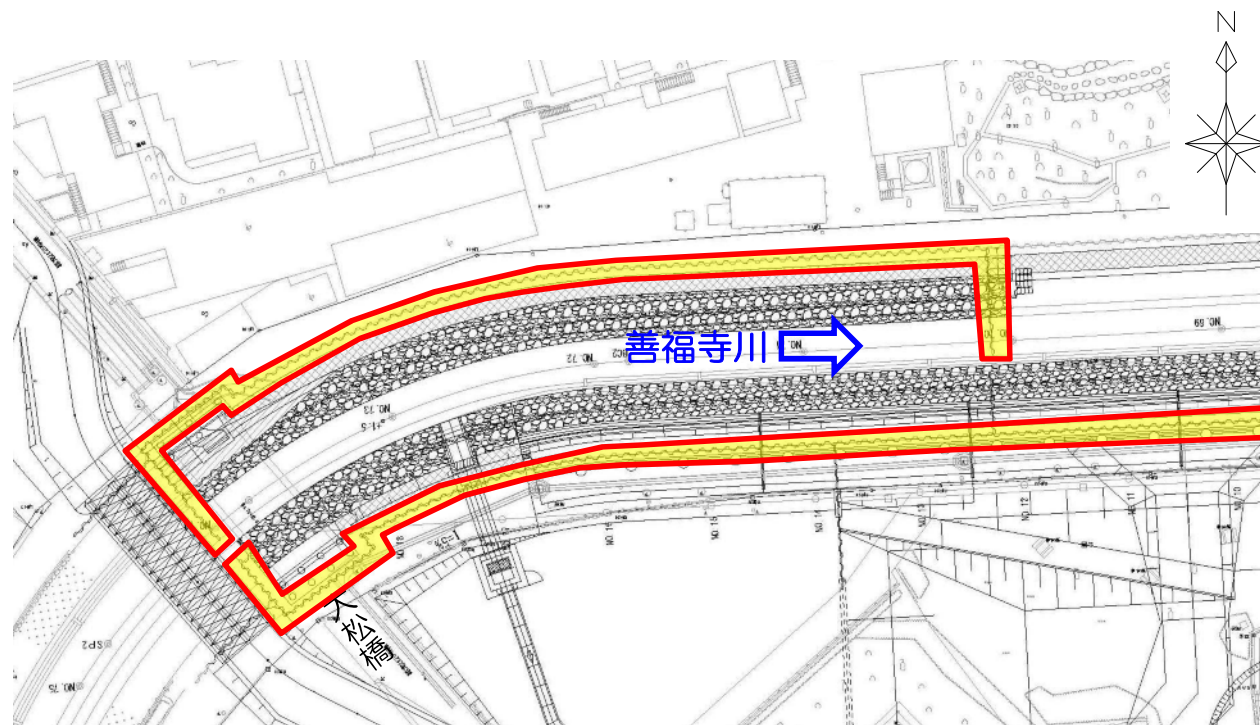
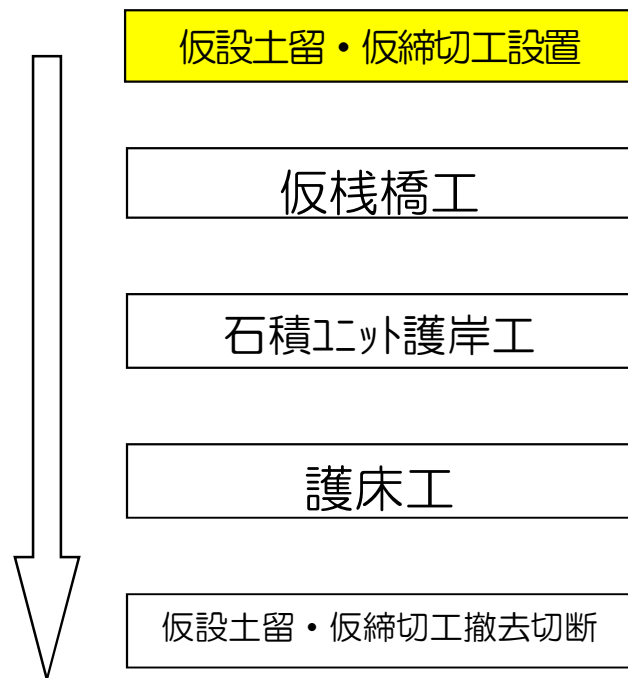


排水施設工の周りを埋め戻した後、バックホウを使って、調節池の斜面の仕上げを行い、工場で作成したブロックマットをクレーンにて設置します。

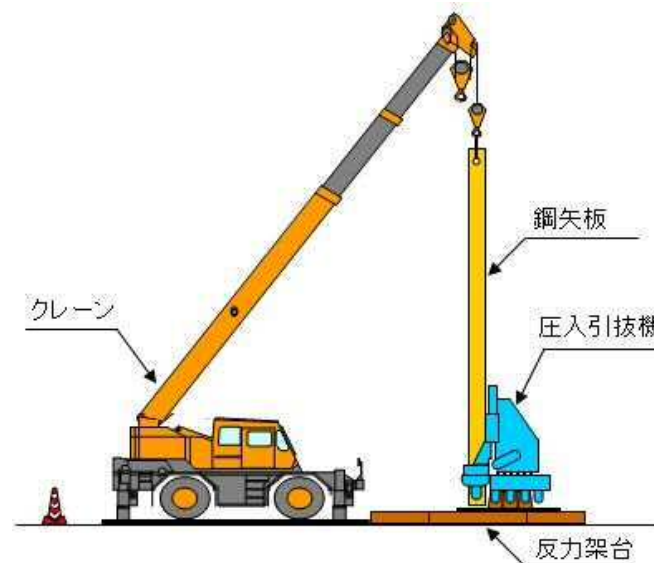


参考写真

②護岸工事：仮設土留・仮締切工設置



大型のクレーンで専用機械(油圧圧入引抜機)の設置や鋼矢板の移動を行い、専用機械で鋼矢板の設置を行います。



②護岸工事：仮棧橋工

仮設土留・仮締切工設置

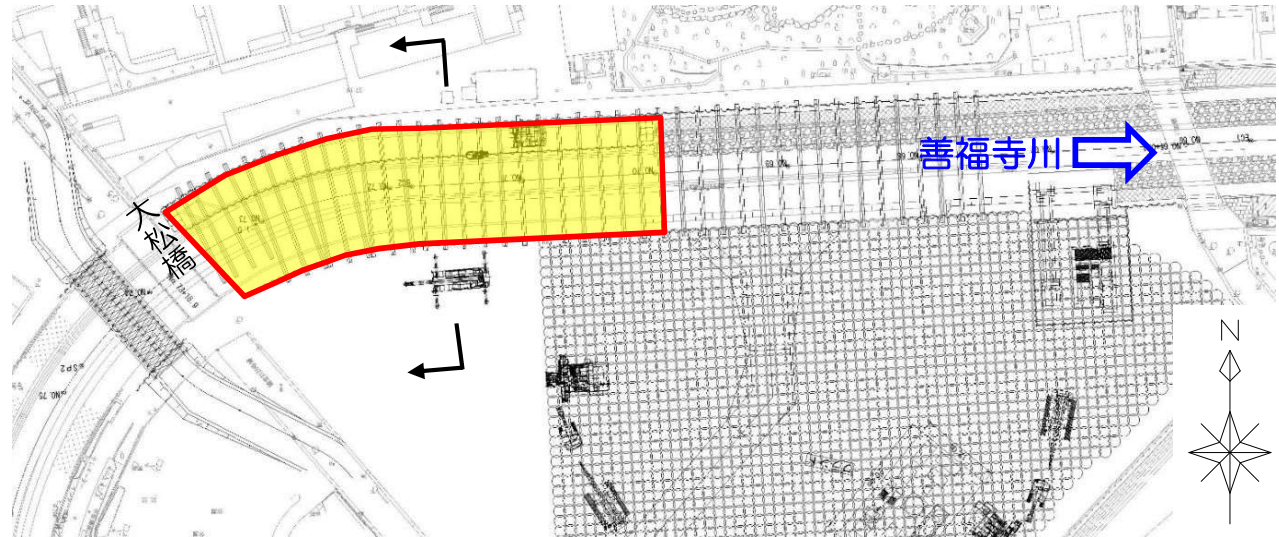
仮棧橋工

石積工外護岸工

護床工

仮設土留・仮締切工撤去切断

大型クレーンを使って、専用の鋼材を吊り込み、ボルトや溶接で固定し設置します。



ラフタークレーン

トレーラー

仮橋・仮棧橋工

(調節池側)



②護岸工事：石積工と護岸工

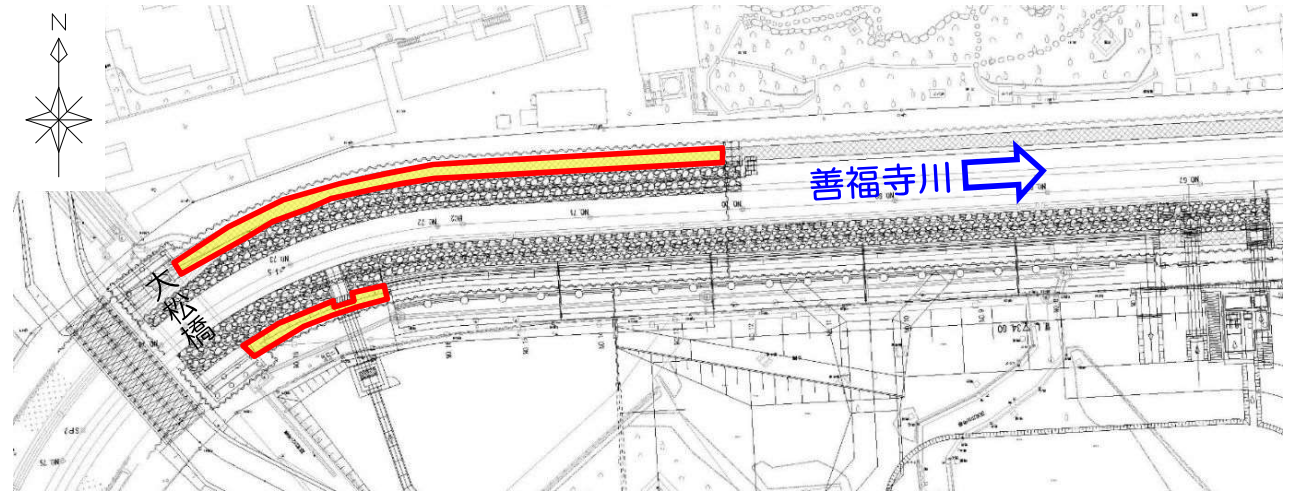
仮設土留・仮締切工設置

仮栈橋工

石積工と護岸工

護床工

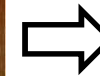
仮設土留・仮締切工撤去切断



土台の基礎コンクリート完了後、背面に専用パネルを設置。



表面の化粧パネルを設置。



裏と表のパネルのすき間にコンクリート充填。

必要高さまで繰り返す

②護岸工事：護床工

仮設土留・仮締切工設置

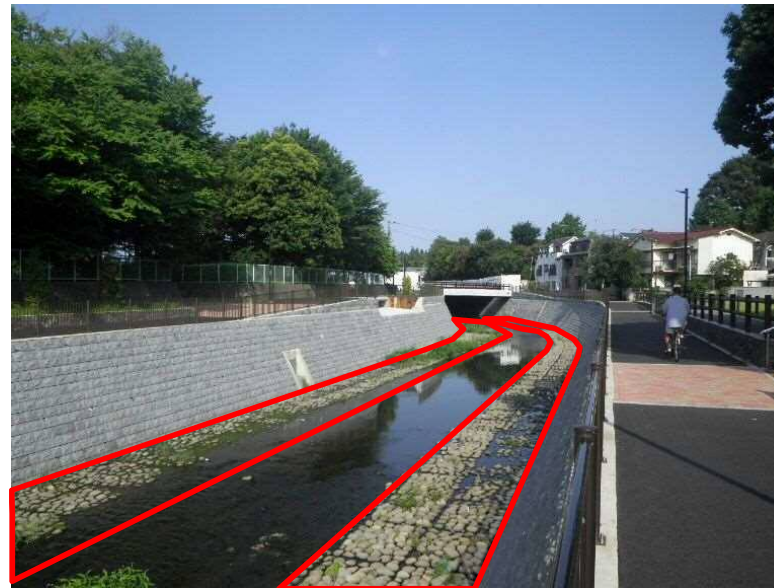
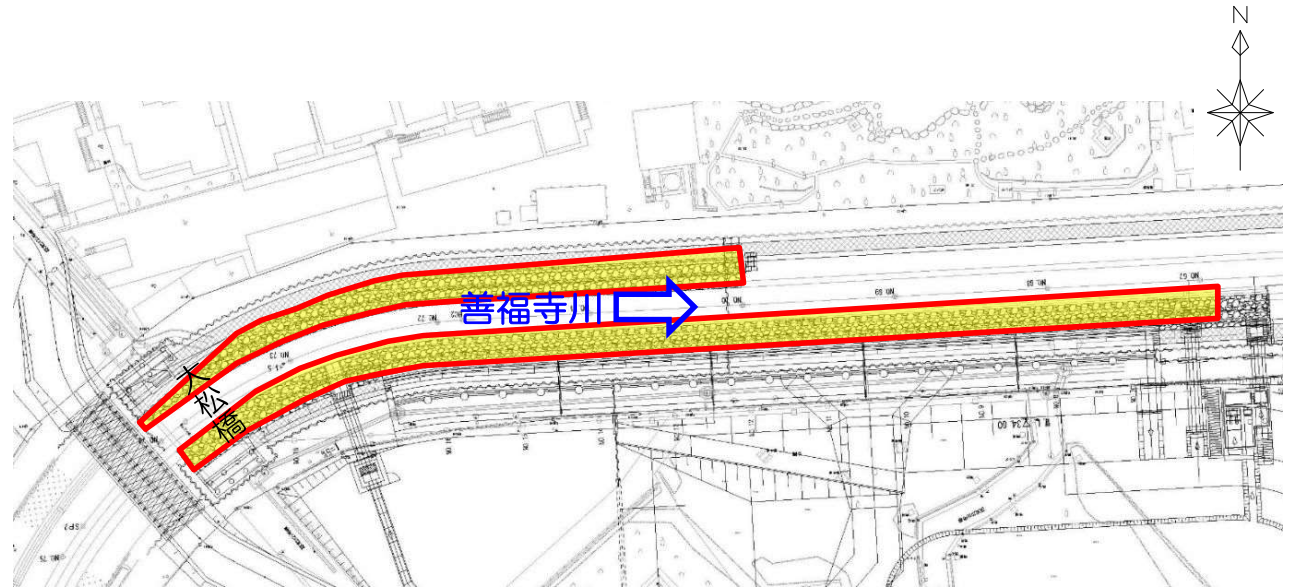
仮栈橋工

石積工・護岸工

護床工

仮設土留・仮締切工撤去切断

金網製のかごの中に、石を詰めます。かごの上面にも工場で石を張ったものを設置します。



②護岸工事：仮設土留・仮締切工撤去切断

仮設土留・仮締切工設置

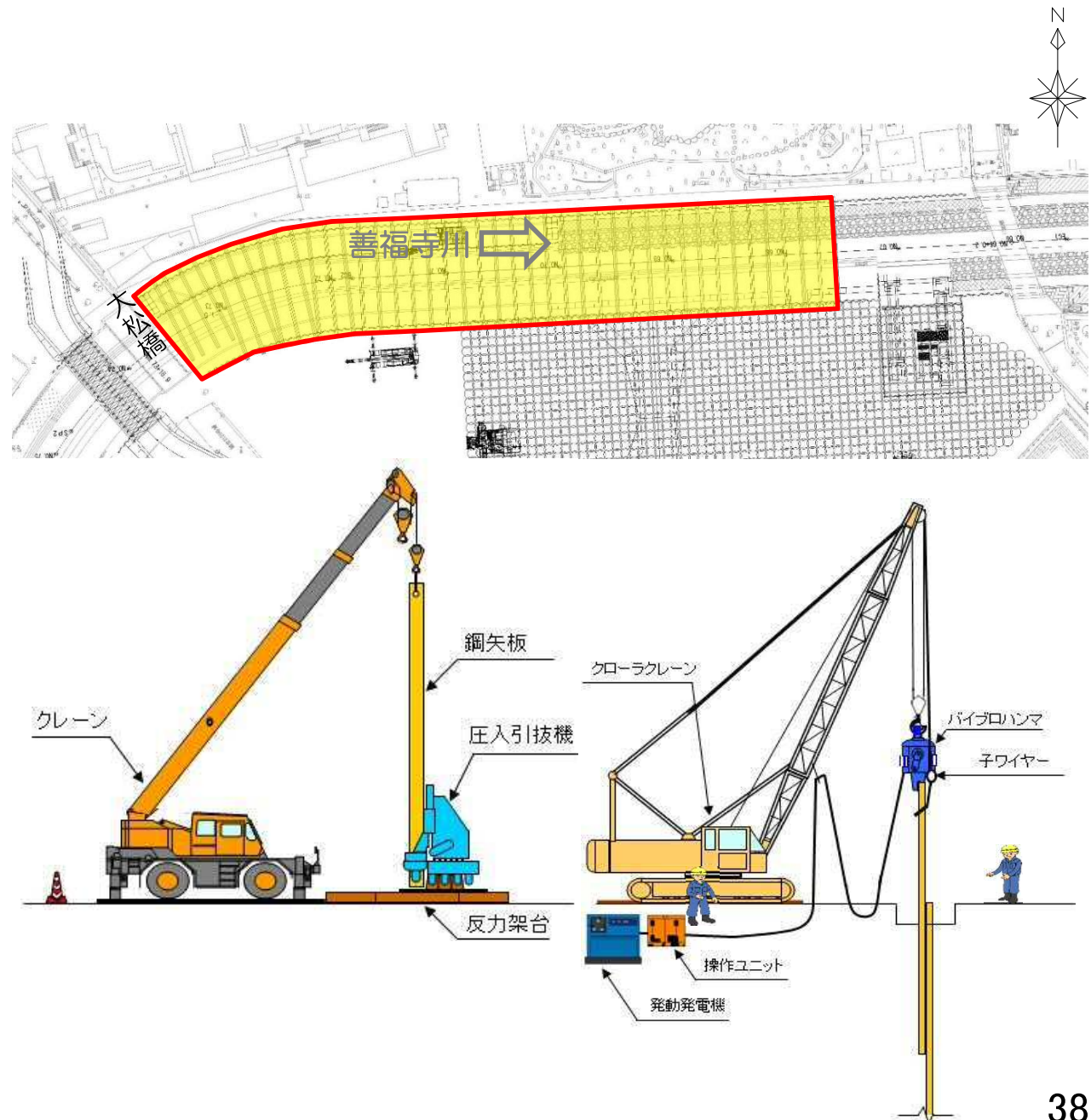
仮栈橋工

石積工・護岸工

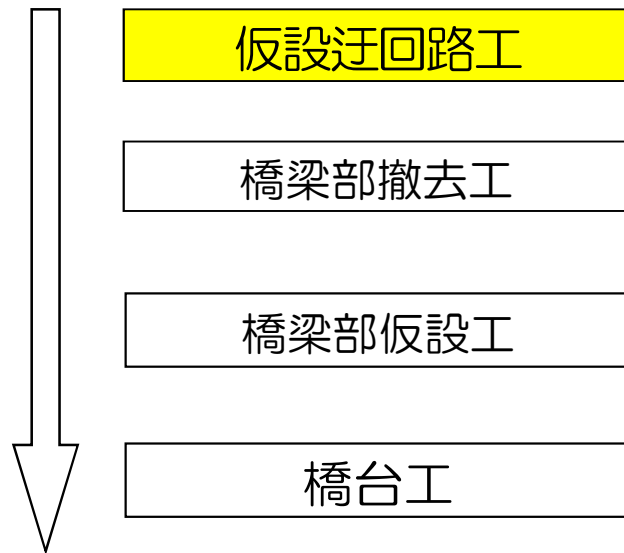
護床工

仮設土留・仮締切工撤去切断

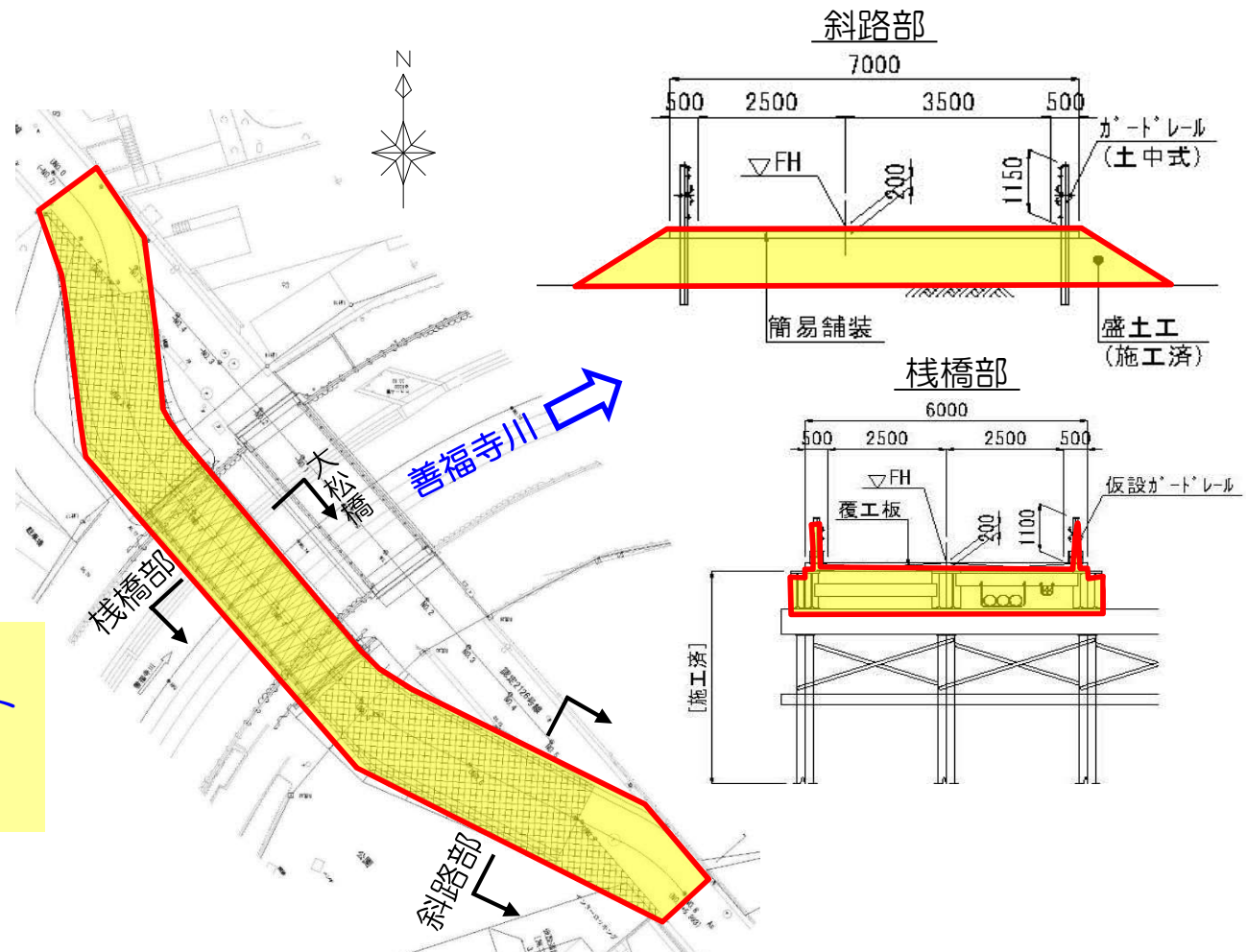
鋼材の切断・引拔を行います。
引抜きは、油圧圧入引抜機や
バイブロハンマーを使用します。



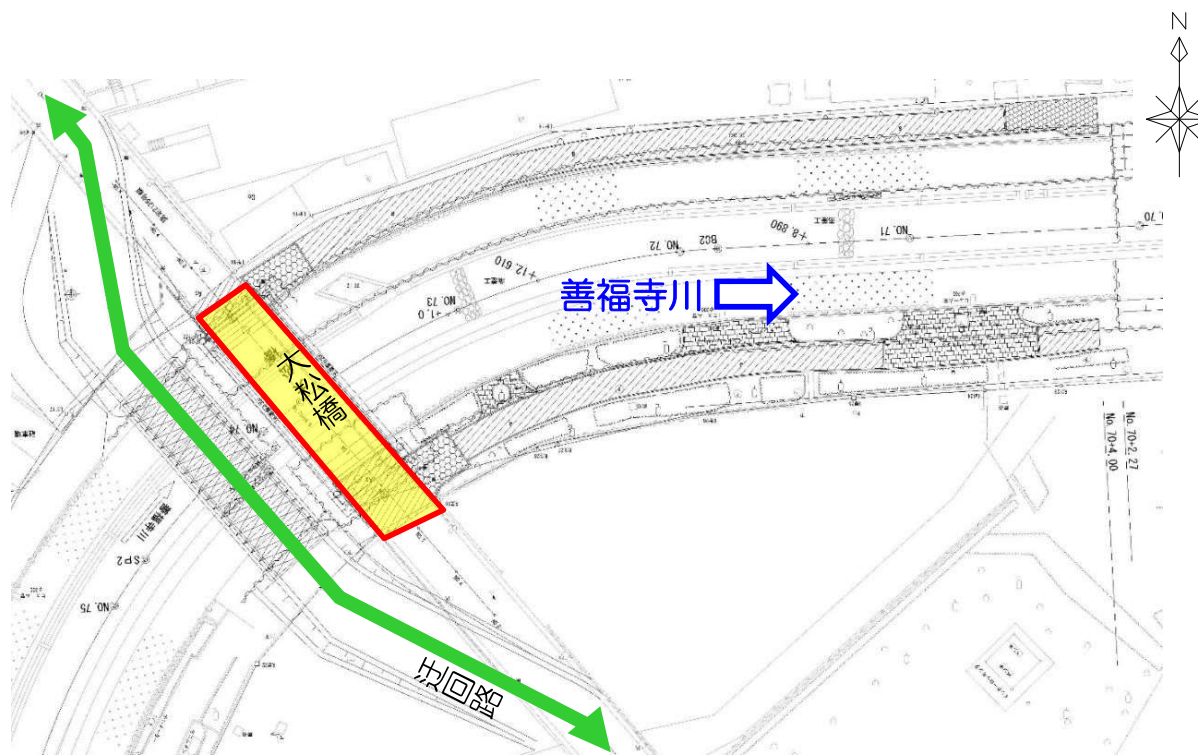
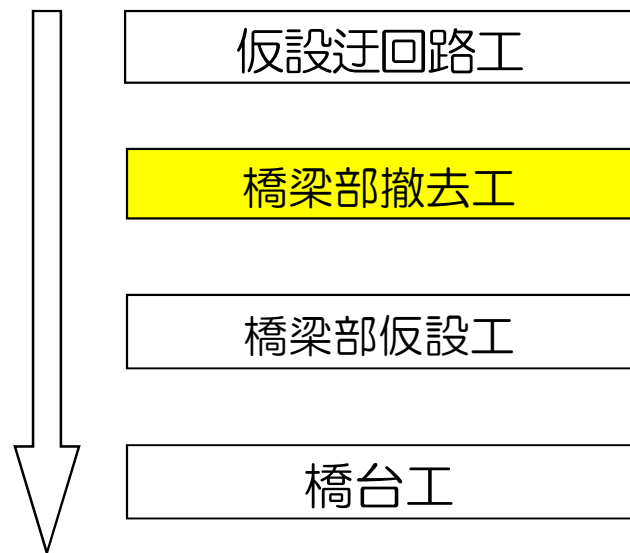
③橋梁工事：仮設迂回路工



栈橋部の覆工板の設置を行い、斜路部のすりつけ及びアスファルト舗装を行います。路肩に防護柵（ガードレール）の設置を行います。



③橋梁工事：橋梁部撤去工

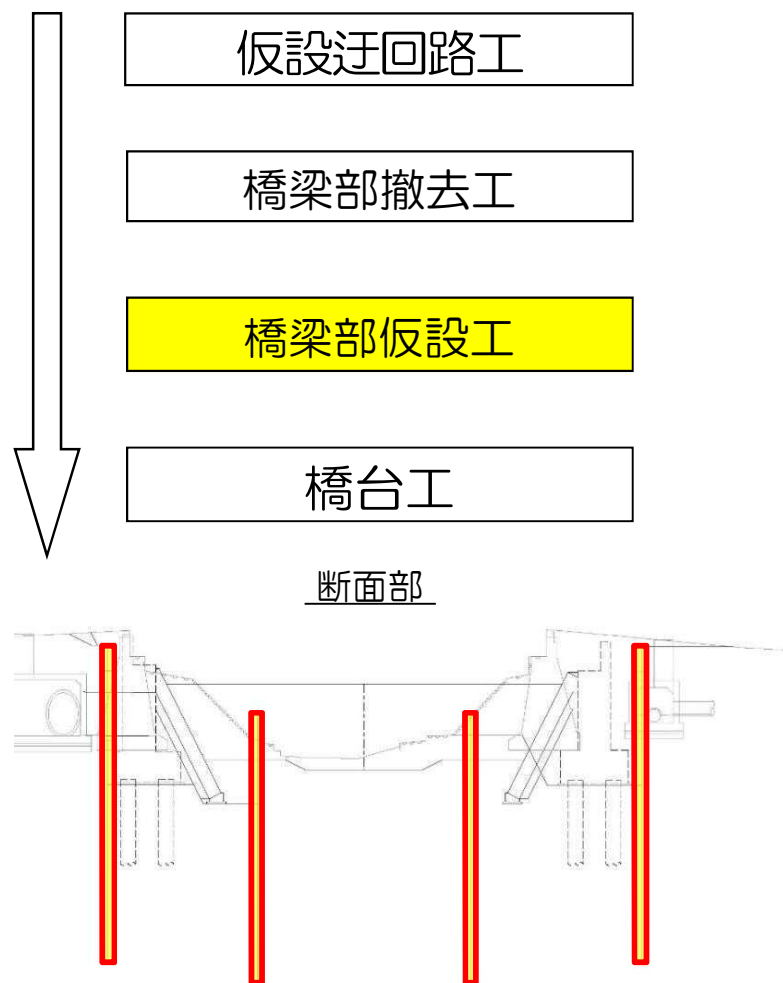


現況写真

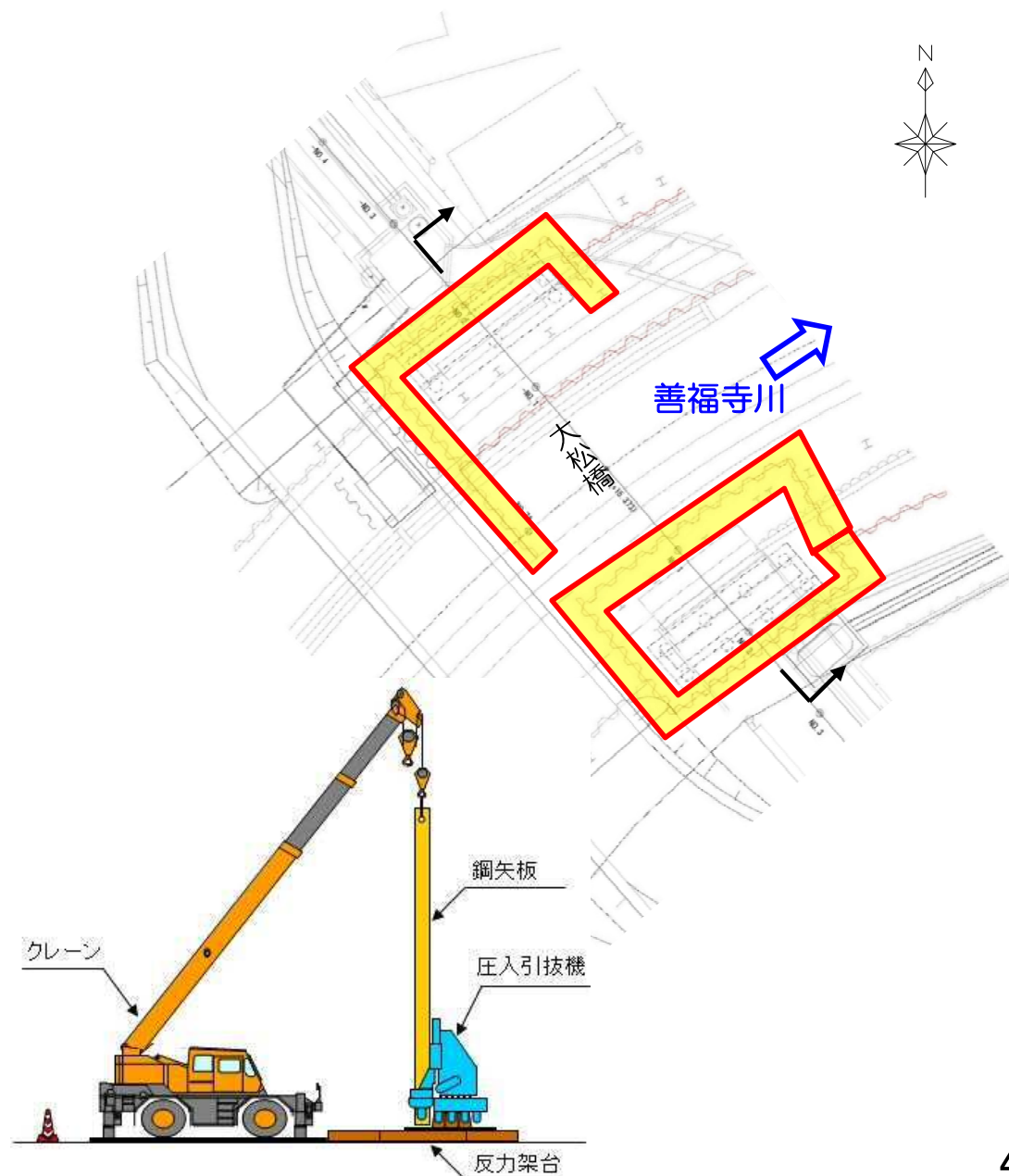
橋の両側の転落防止や舗装版を撤去した後、橋げたの切断・撤去を行い、土台のコンクリートを取り壊します。



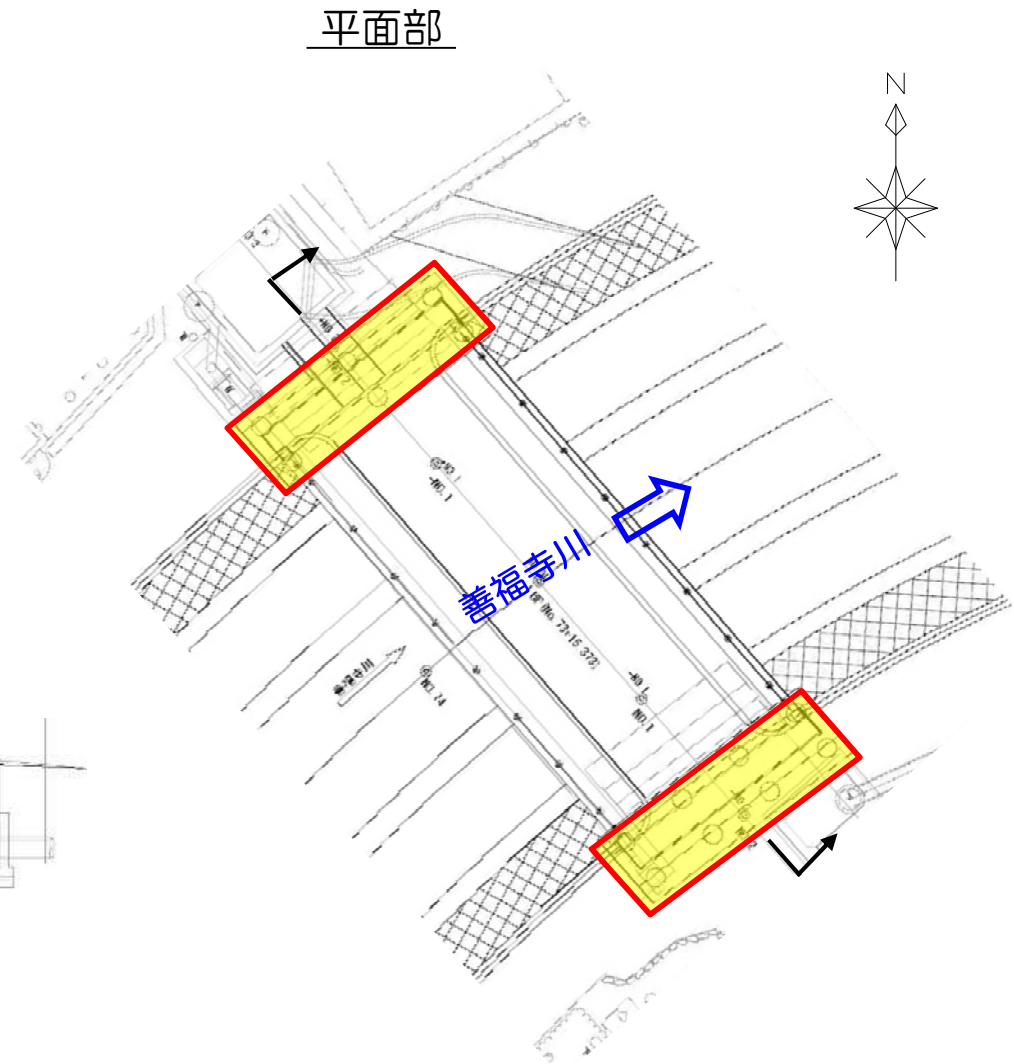
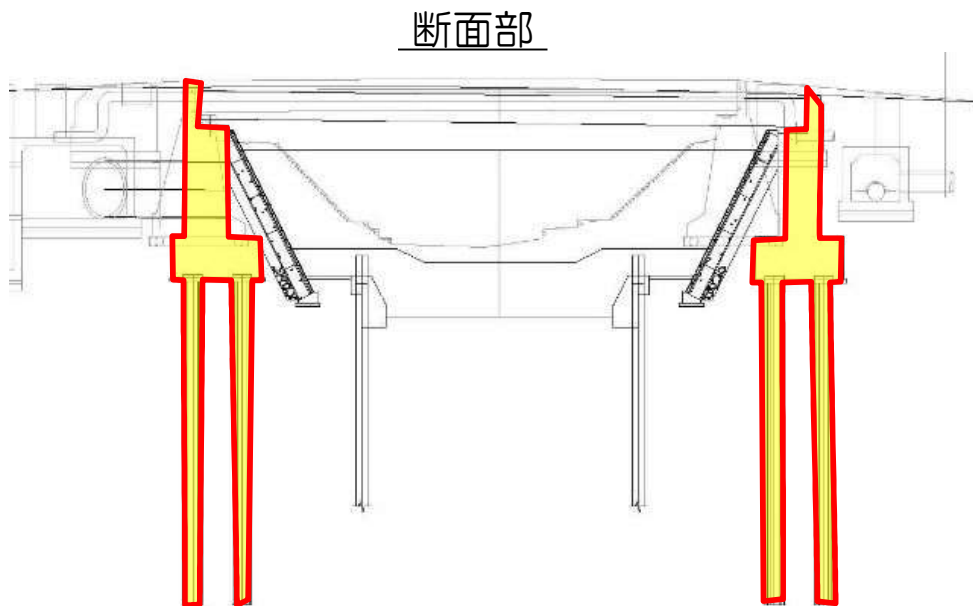
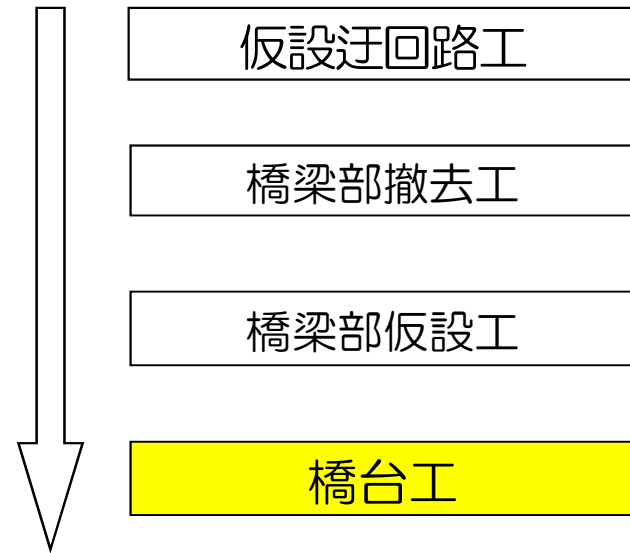
③橋梁工事：橋梁部仮設工



大型のクレーンで専用機械(油圧圧入引抜機)の設置や鋼矢板の移動を行い、専用機械で鋼矢板の設置を行います。

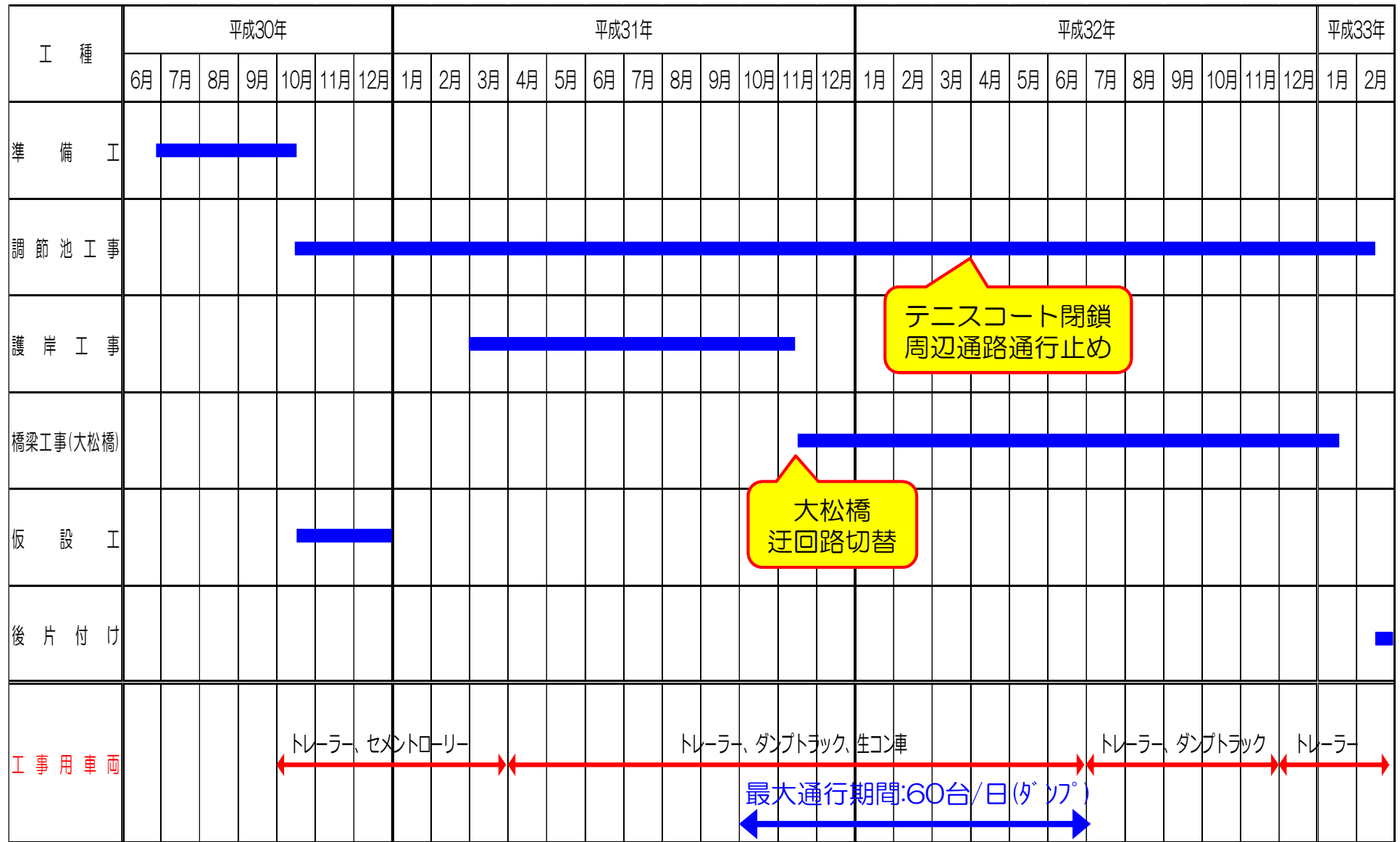


③橋梁工事：橋台工



バックホウで土台の基礎部まで掘り下げて、基礎杭の施工後に鉄筋・コンクリートで構築します。

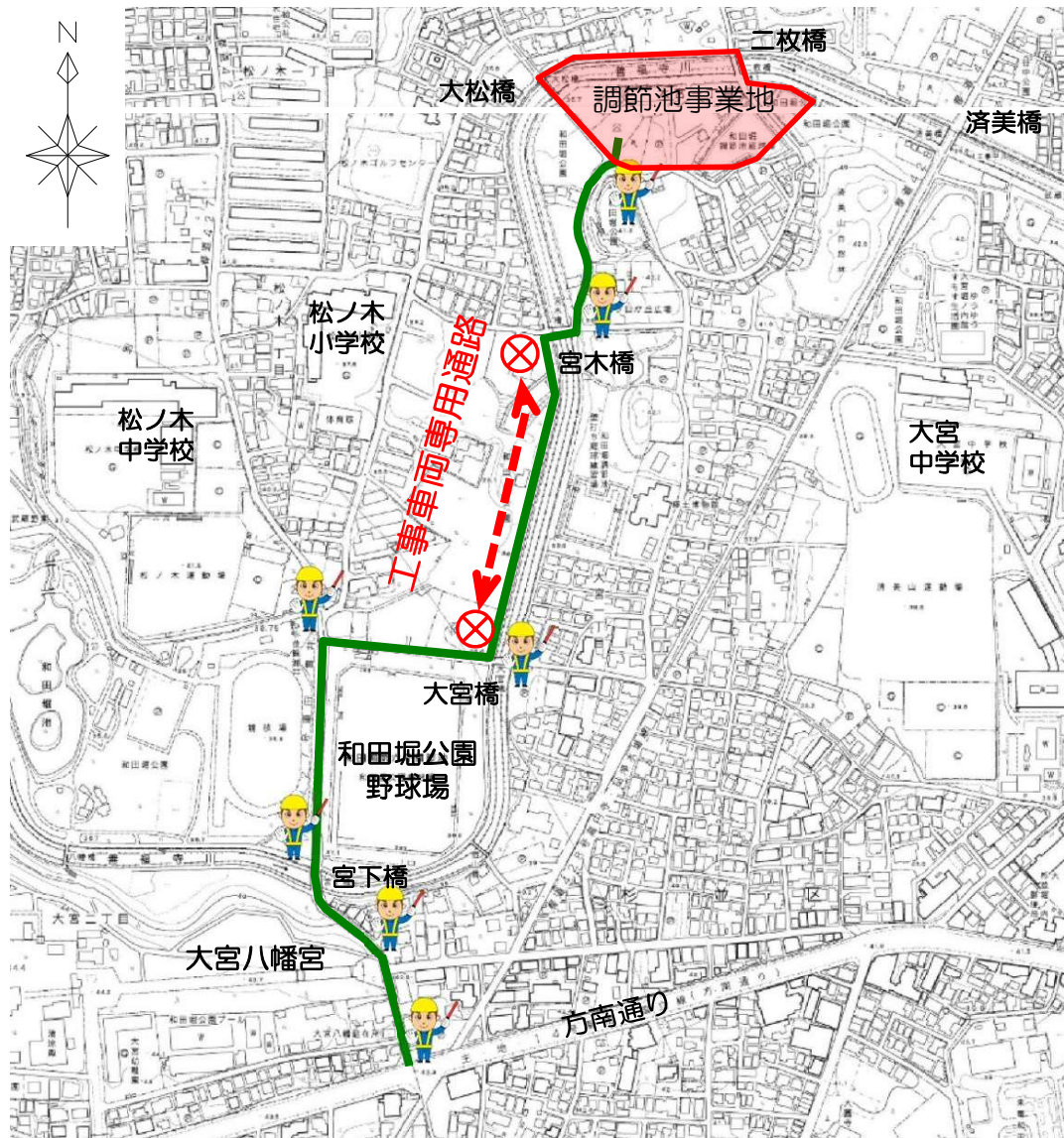
全体工程表



※天候等により、変更になる場合があります。

※工事の進捗によってはダンプトラックに加え、生コン車等が同日に通行する場合があります。

交通誘導員の配置について



交通誘導員



【対象車両（予定）】

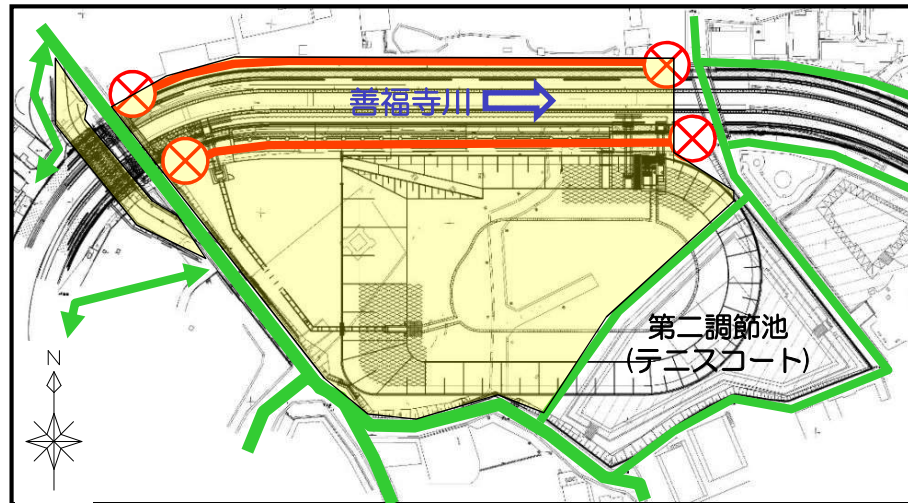
- ・ダンプトラック
- ・ラダークレーン
- ・トレーラー車
- ・大型トラック
- ・生引車
- ・セメントローリー車

———：工事車両通行ルート

1. 大型の工事車両は原則午前8時30分から午後6時に通行します。
2. 工事車両通行ルートには適宜交通誘導員を配置します。

迂回路と通行止め予定

大松橋迂回路工整備前
(～平成31年11月頃)



■ : 作業範囲 緑線 : 通行路 赤線× : 通行止め

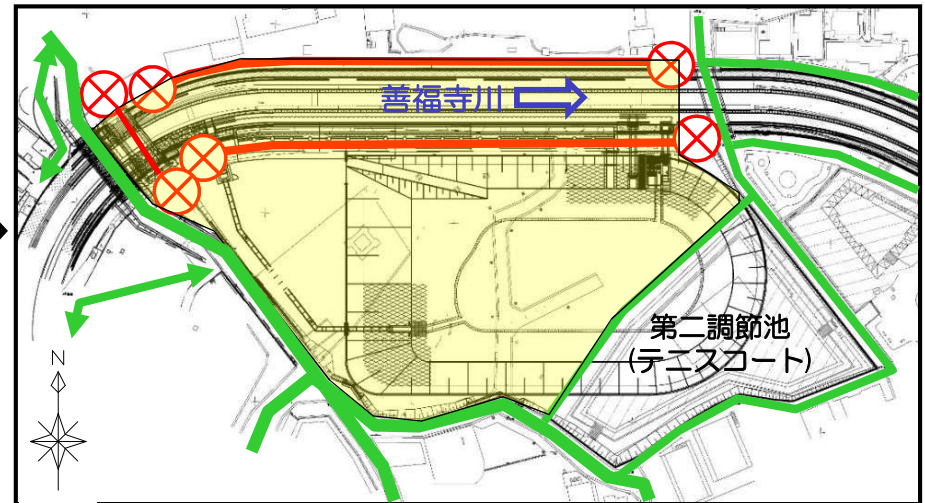
- ・大松橋の取壊しに伴い、迂回路を設置しますので、新しい橋が完成するまで、仮設迂回路をご利用ください。

※切替時期：平成31年11月頃(予定)

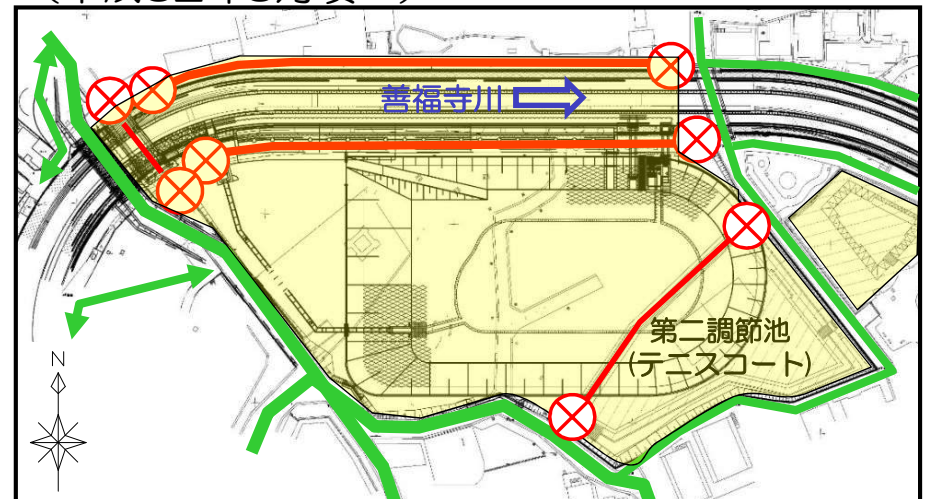
- ・調節池の工事に伴い、第二調節池(テニスコート)の閉鎖及び周辺道路の通行止めが今後発生します。

※切替時期：平成32年3月頃(予定)

大松橋迂回路切替から調節池一次施工
(平成31年11月頃～平成32年3月頃)



調節池二次施工
(平成32年3月頃～)



主な工事車両

大型車両		主な工種	1日の最大通行台数
ダンプトラック		残土処理工 構造物基礎工 護岸工事	60台/日
セメントローリー車		調節池工事 (地盤改良工)	6台/日
生コン車		越流堤工 護岸工事 附帯工事	40台/日
トレーラー		越流堤工 護岸工事 附帯工事 仮設工	6台/日

※トレーラー等の特に大きな車両については、早朝(AM6時頃)の搬入予定です。

工事車両の表示プレート



- 1) 発注者である東京都第三建設事務所の表示→「東京都三建」
- 2) 工事件名：和田堀調節池工事その2の表示→「和田堀」
- 3) 受注者（工事担当）である会社名の表示→「松尾建設(株)」

工事に伴う家屋調査について

家屋調査とは

工事による近隣家屋への影響の有無について、
正確に判断する資料を得るため、工事の着手前と
完了後に家屋及び屋外の工作物を調査するもので
す。

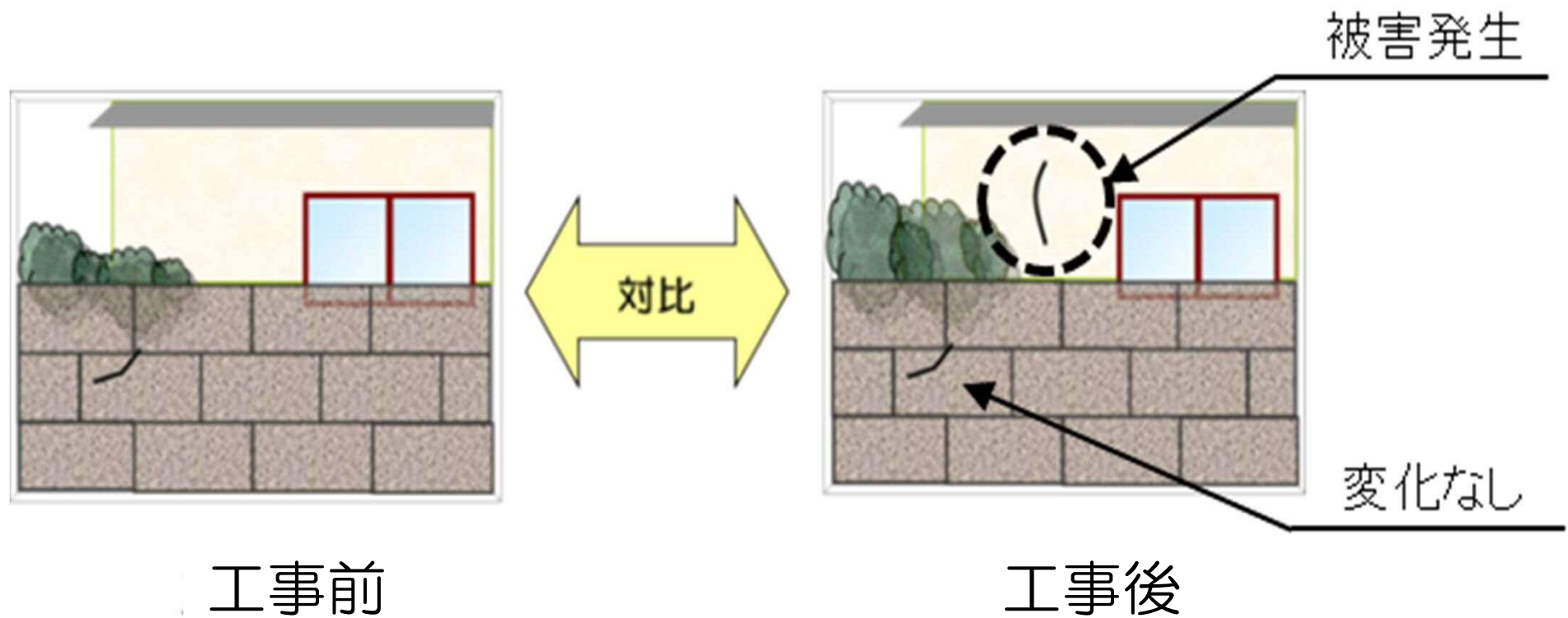
→着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、工事が原因で被害が生じた
ことが確認された場合、家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償します。

※調査を辞退された箇所は、損傷と工事の因果関係を立証することが出来
なくなるため、ご自身で因果関係を証明して頂かない限り、賠償すること
が出来ません。

○家屋への影響が想定される工事内容（例）

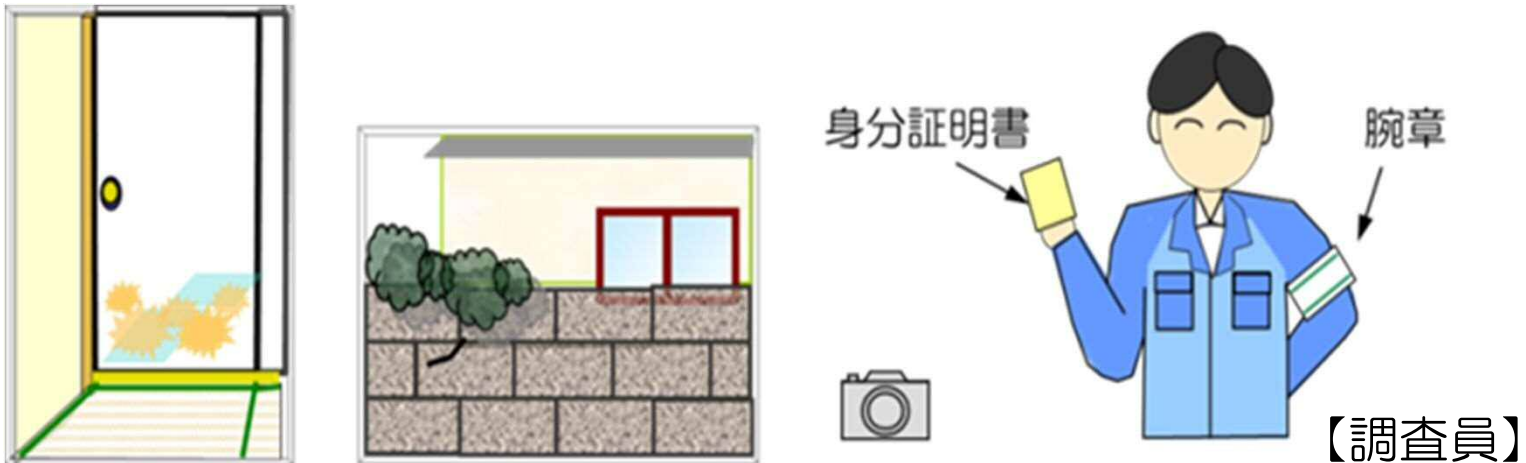
- ・掘削、支持杭打ち込み時の振動など

家屋損害の補償について



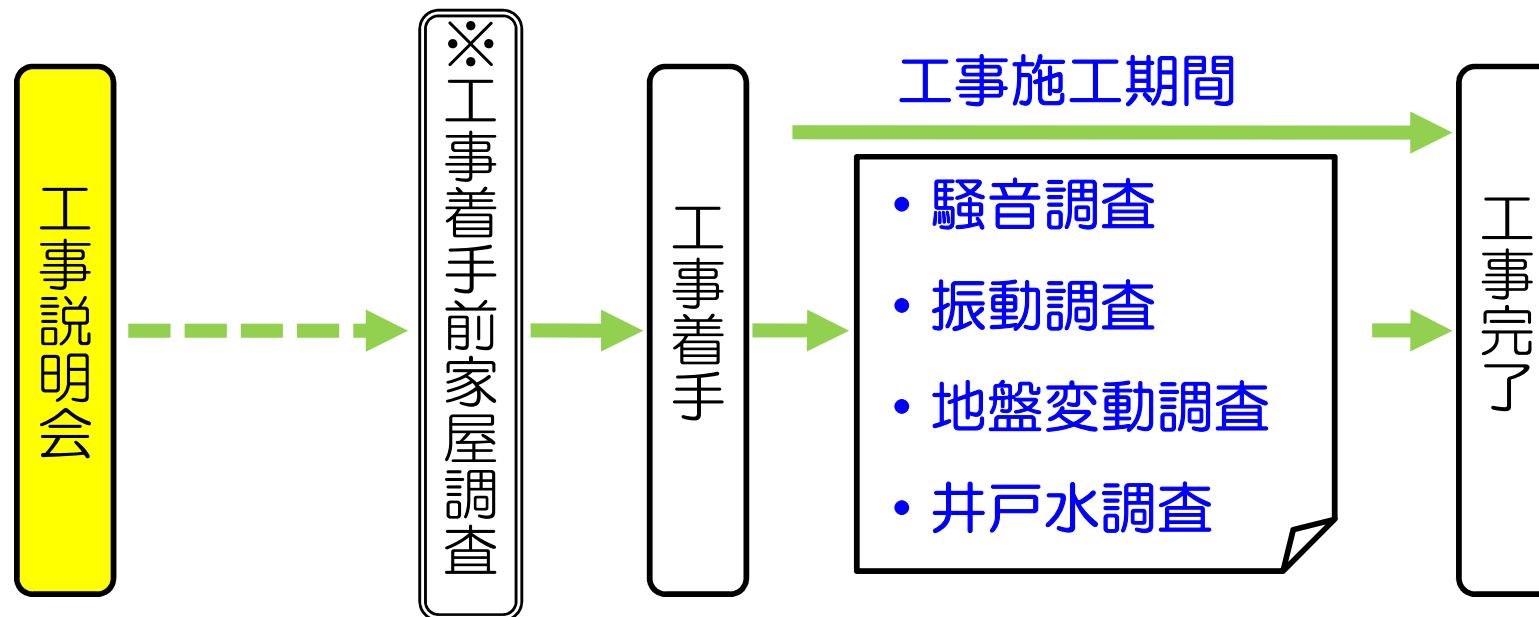
家屋調査の内容等

調査会社 株式会社中央クリエイト
調査内容 屋内：柱や床の傾斜測定
壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）
屋外：壁や塀等の傾斜測定
土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



※調査の際には、皆様方のお立会いをお願いいたします。
※調査期間は未定です。
※撮影した写真を含む個人情報 は 厳重に管理いたします。

家屋調査手順等



家屋調査員身分証明書

24〇建〇〇身第号

身分証明書

氏名

昭和 年 月 日生

勤務先

住所

上記の者は東京都施行の下記委託に従事する者であることを証明する。

記

1. 件 名

2. 委託場所

3. 委託期間 自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日

東京都〇〇建設事務所長

顔写真

公印

注 意

- この証明書は、標記 委託 に従事する場合には、必ず携帯し、関係人に請求があったときは、いつでも提示しなければならない。
- この証明書の記載事項は訂正しない訂正したものは無効とする。
- この証明書は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。
- この証明書を紛失したときは、すみやかに東京都〇〇建設事務所長へ届け出なければならない。
- この証明書の有効期間は、委託期間とし、有効期間を経過したときは、すみやかに東京都〇〇建設事務所長へ返還しなければならない。

腕章



家屋損害賠償の手順について

工事後家屋調査 実施（外部への委託）

工事後家屋調査 取りまとめ



工事による家屋被害の認定



家屋復旧調査



賠償額提示



交渉・賠償額のお支払い（金銭による賠償）

はじめに

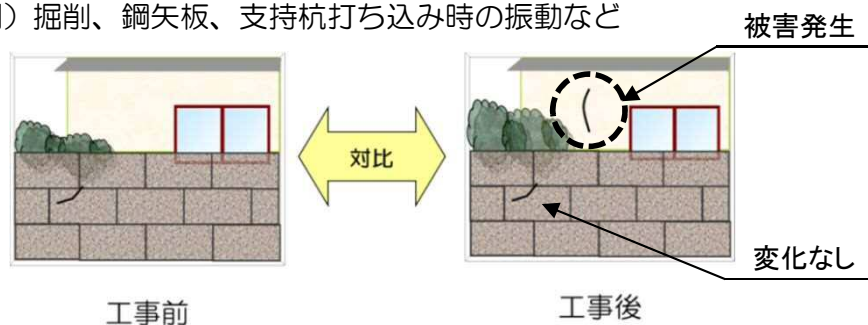
日頃より善福寺川整備事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。工事は、近隣家屋へ影響を及ぼさないように十分留意して進めて参ります。ここでは、工事に伴う家屋調査と損傷があった場合の損害賠償についてご案内させていただきます。

家屋調査とは

工事による近隣家屋への影響の有無について、正確に判断する資料を得るため、工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を調査するものです。着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償いたします。

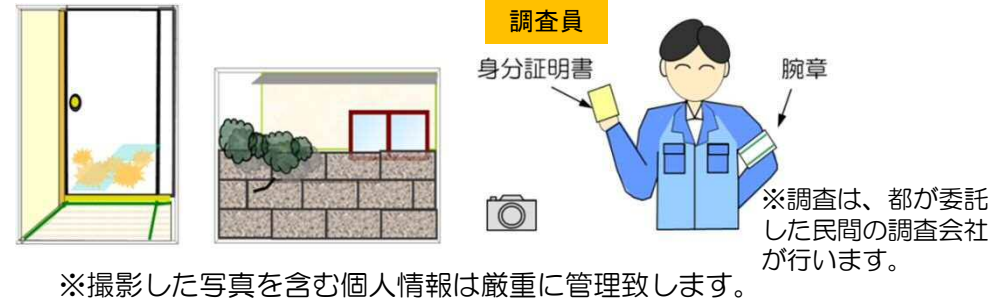
【家屋への影響が想定される工事内容】

(例) 掘削、鋼矢板、支持杭打ち込み時の振動など



家屋調査の内容

屋内：柱や床の傾斜測定、壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）
屋外：壁や塀等の傾斜測定、土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）

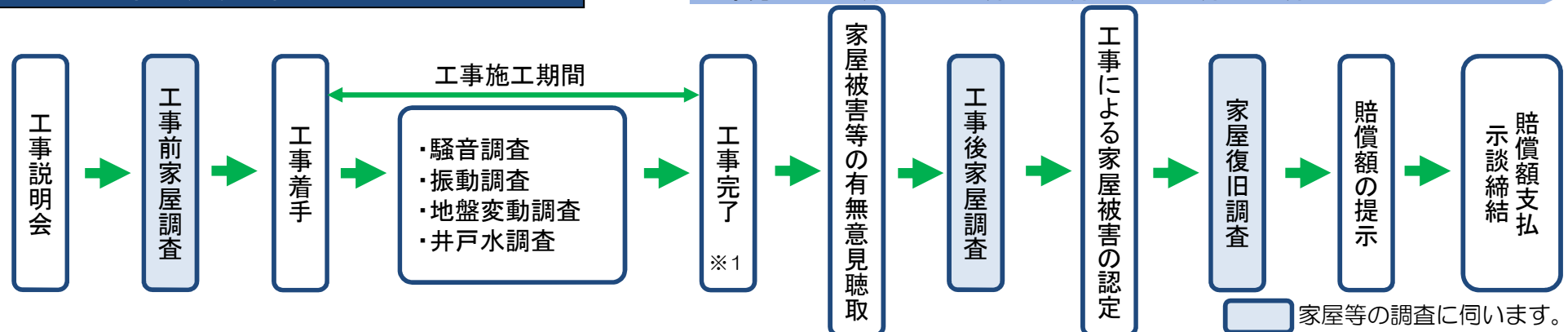


注意事項

- ① 調査を辞退された箇所は、損傷と工事の因果関係を立証することが出来なくなるため、ご自身で因果関係を証明して頂かない限り、賠償することができません。
- ② 工事前家屋調査～家屋復旧調査の間に家屋等の補修・外壁の塗装などを行う際には、事前にご連絡ください。確認が出来ないまま家屋の補修等が実施され、損傷と工事の因果関係を立証できなくなった場合には、賠償することができません。
- ③ 家屋損害賠償は、金銭による賠償となります。また、損害賠償額は、被害を認定した時点の単価を用いて統一した基準により算定します。

家屋調査・家屋損害賠償の標準的な流れについて

工事完了～6か月 6～10か月 12か月 14～16か月 16か月～ ※2



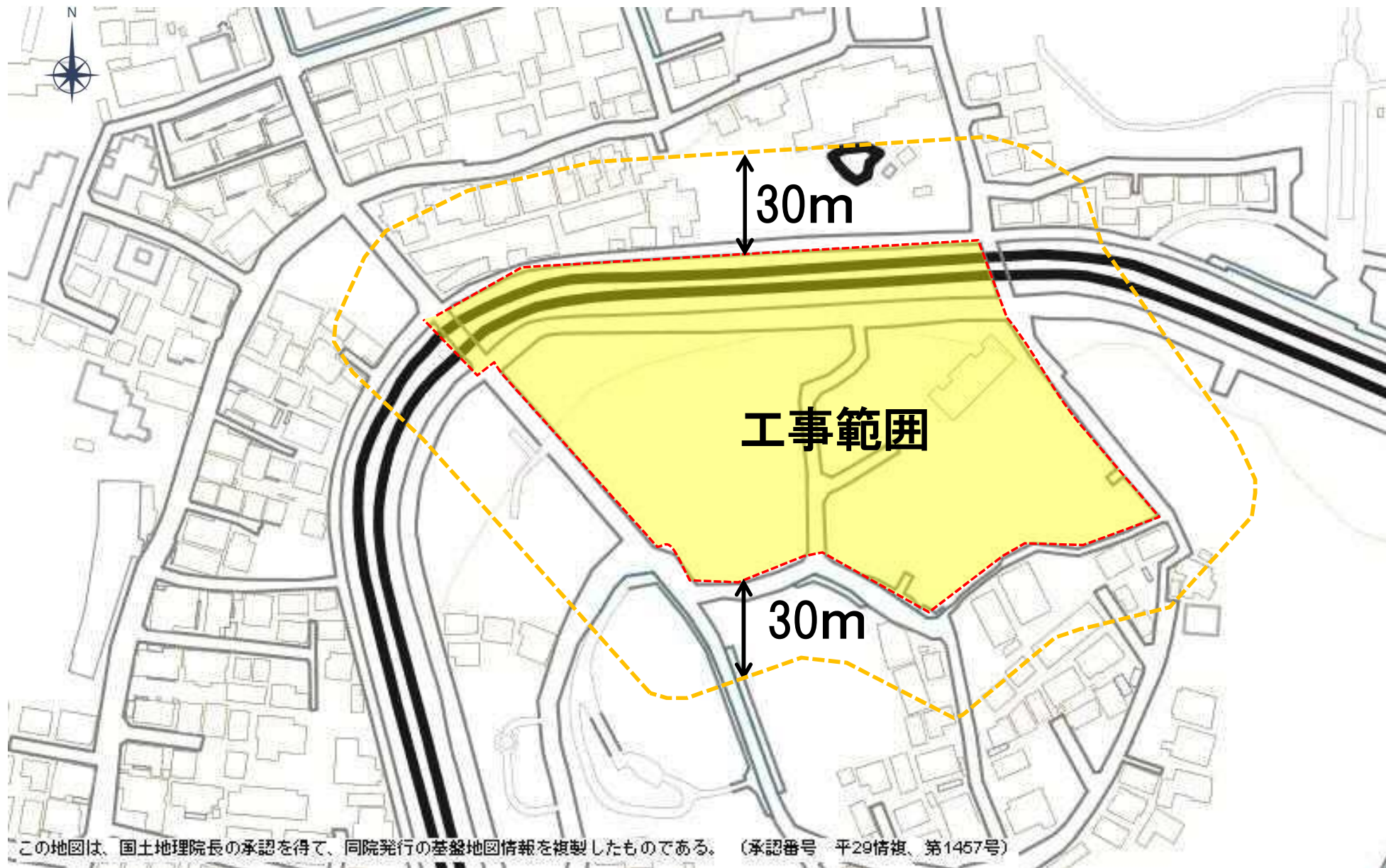
※1 工事の影響が複数の工事にまたがる場合には、影響する全ての工事が完了した時点となります。

※2 記載の期間はおよその目安です。対象件数、内容、規模によって変更となることがあります。

(問合せ先) 東京都第三事務所工事第二課

工事担当(03)3387-2103 渉外担当(03) 3387-2104

家屋調査対象範囲



問い合わせ先

発注者

東京都第三建設事務所 工事第二課

工事全体に関すること

工事担当 青木、加瀬

TEL 03-3387-2103

工事の内容や施工方法に関すること

設計担当（調節池整備担当）岡田、外山 TEL 03-3387-6250

受注者

松尾建設株式会社

現場代理人 松尾 真一

TEL 03-3314-3345

TEL 080-8590-8914

監理技術者 辻 信一

工事WEBサイト <http://www.matsuo-tokyosuginami.jp>

